

# 図書館要覧

平成26年度



福岡市総合図書館

FUKUOKA CITY PUBLIC LIBRARY

## ◎ 開館時間及び休館日

開館時間	≪総合図書館≫ 平日・土曜日 午前10時～午後7時（映像ホール：午前10時～午後10時） 日曜日・休日 午前10時～午後6時（映像ホール：午前10時～午後6時） ≪分館≫ 午前10時～午後6時
休館日	≪総合図書館・分館≫ 毎週月曜日（その日が休日に当たるときは、その日後において最初の休日でない日） 毎月末日（その日が土曜日、日曜日、月曜日又は休日に当たるときは、その日後において最初の土曜日、日曜日、月曜日及び休日でない日） 年末年始（12月28日～翌年1月4日） 図書特別整理期間（不定）

## ◎ 図書の貸出

事項	個人貸出	団体貸出
登録条件	福岡都市圏内に居住、または福岡市内に通勤・通学する者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・責任者が明確であること</li> <li>・本の保管場所があること</li> <li>・会員数が大人と子ども合わせて20人以上であること</li> </ul>
貸出冊数	1人10冊以内	1団体1,000冊までとし、実情に応じて決定する
貸出期間	2週間以内	団体の希望に応じて3～6ヶ月
貸出方法	コンピューターによる貸出 分館と共通	図書館車等による巡回配本

※ 表紙は、福岡市総合図書館外観

# 目 次

I. 沿革	1
II. 運営組織と予算	3
1. 運営組織	3
2. 予算	4
III. 施設概要	5
1. 総合図書館の施設概要	5
2. 分館の施設概要	7
3. 総合図書館及び分館の入館者数	7
IV. 図書館活動	8
1. 図書資料部門	8
図書資料部門（総合図書館）の概要	8
図書資料部門（分館）の概要	9
総合図書館・分館の活動及び実績	9
2. 文書資料部門	24
文書資料部門の概要	24
文書資料部門の活動及び実績	25
3. 映像資料部門	28
映像資料部門の概要	28
映像資料部門の活動及び実績	29
4. 広報活動	32
5. 研究活動	32
6. 九州国連寄託図書館	33
7. 福岡市立点字図書館	34
8. 福岡市総合図書館運営審議会	35
V. 条例、関係規則等	36
1. 福岡市総合図書館条例	36
2. 福岡市総合図書館条例施行規則	41
3. 図書館法	50
4. 著作権法（抜粋）	52
5. 著作権法施行令（抜粋）	53
6. 公文書館法	53
7. 博物館法（抜粋）	54
8. 子どもの読書活動の推進に関する法律	55
9. 文字・活字文化振興法	56
VI. 福岡市勢概要	58

# I. 沿 革

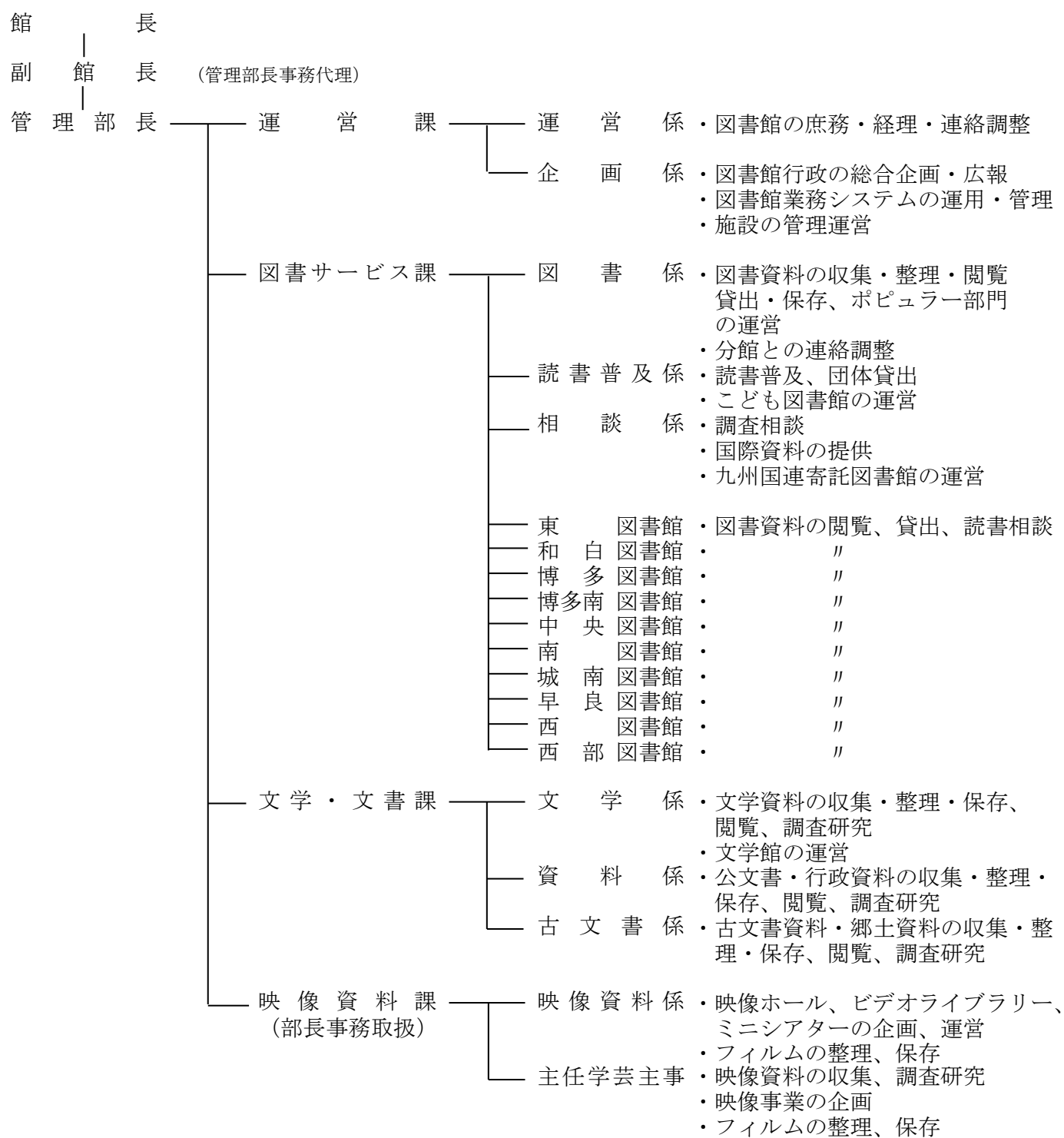
年 月 日	事 項
昭和29. 11. 18	福岡市中央公民館内に少年図書室設置、蔵書4,997冊で、主として小・中・高校生の館内利用開始
29. 12. 1	移動図書館車「青い鳥号」購入、周辺部の市民（少年）に対する巡回貸出開始
34. 8. 1	「青い鳥号」による貸出方式を、個人貸出から読書団体への団体貸出に切り替える
46. 5. 5	市立少年文化会館（現・市立少年科学文化会館）開設に伴い、少年図書室の機能を併合（少年図書室は廃止）
47. 2. 1	福岡市総合計画により、市民図書館の建設、各区に市民センター建設の方針決定
49. 10. 31	旧博多ブレイランドの施設を転用し、図書館として51年度に開館する方針決定
51. 5. 30	博多区築港本町に福岡市民図書館開館
52. 7. 16	東市民センター開館、図書室の利用開始
53. 7. 22	南市民センター開館、図書室の利用開始
55. 3. 23	中央市民センター開館、図書室の利用開始
5. 5	福岡市民図書館にこども図書館開館
56. 7. 1	図書の貸出、返却に電算機導入
57. 2. 14	西市民センター（現・早良市民センター）開館、図書室の利用開始
58. 8. 26	博多市民センター開館、図書室の利用開始
59. 4. 1	福岡市民図書館保存書庫整備
8. 1	城南市民センター開館、図書室の利用開始
63. 1. 1	西市民センターが早良市民センターに名称変更
3. 1	新たに西市民センター開館、図書室の利用開始、全区に市民センター図書室が揃う
10. 25	九州国連寄託図書館を承認開設
平成元. 7. 20	福岡市新図書館基本構想委員会発足
2. 2. 27	福岡市新図書館基本構想答申
3. 1. 31	福岡市新図書館基本計画答申
10. 27	特別資料室内に国際資料コーナーを開設
7. 7. 5	新図書館竣工
12. 1	新図書館の開館準備のため、福岡市民図書館休館
8. 4. 1	福岡市総合図書館設置、各市民センター図書室の分館化、総合図書館オンラインシステムの稼働
6. 29	早良区百道浜に福岡市総合図書館開館
10. 7. 1	パソコン通信による蔵書検索システムの一般公開開始
11. 1. 5	障害者への図書郵送貸出サービス開始
7. 15	福岡市総合図書館ホームページ開設
12. 1. 30	博多南図書館開館
12. 27	パソコン通信による蔵書検索システムを廃止
13. 3. 2	九州大学中央図書館と相互貸借開始
4. 1	福岡都市圏の公共図書館等で広域利用開始
14. 5. 25	福岡市総合図書館と福岡市赤煉瓦文化館を活用した「福岡市文学館」を開設
10. 1	福岡工業大学附属図書館、福岡歯科大学情報図書館、福岡女学院大学図書館と相互貸借開始
15. 8. 9	和白図書館開館
11. 27	F I A F（国際フィルムアーカイヴ連盟）に加盟
16. 5. 1	西南学院大学図書館と相互貸借開始
10. 1	九州産業大学図書館と相互貸借開始
17. 4. 1	福岡女子大学附属図書館と相互貸借開始
18. 4. 1	中村学園大学図書館と相互貸借開始
11. 1	福岡大学図書館と相互貸借開始

年 月 日	事 項
平成19. 4. 1  10. 10 22. 4. 1  7. 20  8. 10  24. 4. 1  4. 1  10. 1  25. 4. 2  26. 4. 1	新図書館システムの稼働、 I C タグの導入 自動貸出機を福岡市総合図書館に 2 台、各 9 分館に 1 台設置、全分館に B D S の設置 インターネット及び検索機 (OPAC) による予約受付開始 アミカス図書室資料データおよび図書取り扱いの一元化 西部図書館開館 情報プラザ、地下鉄博多駅、別府駅に図書返却ポスト設置 西鉄薬院駅ビル、地下鉄西新駅、早良区入部出張所に図書返却ポスト設置 有料宅配サービスの開始 福岡県立図書館との相互返却サービス開始 自動返却機を総合図書館に 2 台、各10分館に 1 台設置 木の葉モール橋本に図書返却ポスト設置

## II. 運営組織と予算 (平成26年5月1日現在)

### 1. 運営組織

#### (1) 組織図及び分掌事務



#### (2) 職員配置

(単位:人)

区分	総合図書館	分館	合計
一般職員	34 (7)	0 (0)	34 (7)
嘱託職員	38 (28)	68 (53)	106 (81)
合計	72 (35)	68 (53)	140 (88)

※ ( )内は、司書資格者数を再掲

## 【内訳】

	総合図書館						
	館長	部長	運営課	図書サービス課	文学・文書課	映像資料課	計
職員数	1	1	8	39 (28)	17 (6)	6 (1)	72 (35)

※ ( )内は、司書資格者数を再掲

	分館										
	東	和白	博多	博多南	中央	南	城南	早良	西	西部	計
職員数	7 (5)	7 (5)	6 (6)	7 (5)	7 (5)	7 (6)	7 (5)	6 (6)	7 (5)	7 (5)	68 (53)

※ ( )内は、司書資格者数を再掲

## 2. 予算

事 項	金額 (千円)
<b>1 給与費等</b>	<b>319,396</b>
<b>2 管理運営費</b>	<b>748,991</b>
一般管理費	164,914
施設管理費	246,307
分館運営費	329,146
映像機器の更新	8,000
総合図書館活動評価経費	624
<b>3 主催事業費</b>	<b>2,936</b>
講座等経費	1,413
映像企画事業等経費	1,523
<b>4 資料収集経費</b>	<b>170,743</b>
図書購入費	89,368
映像資料購入費	3,043
図書整理費	33,100
文書資料整理等経費	33,438
収集保存等経費	11,794
<b>5 図書利用サービス費</b>	<b>161,944</b>
一般利用サービス費	159,116
団体貸出運営費	2,371
こども図書館運営費	457
<b>6 国連寄託図書館運営費</b>	<b>9,331</b>
<b>7 文学館費</b>	<b>14,290</b>
文学館管理運営費	11,356
文学館事業費	2,934
<b>8 施設整備費</b>	<b>95,407</b>
総合図書館施設整備費	30,568
図書館分館整備事業	64,839
合 計	<b>1,523,038</b>

### Ⅲ. 施設概要

#### 1. 総合図書館の施設概要

所在地 福岡市早良区百道浜三丁目7番1号  
敷地面積 19,818㎡  
延床面積 24,120㎡  
構造 鉄筋コンクリート造・地上5階建  
施設内容等

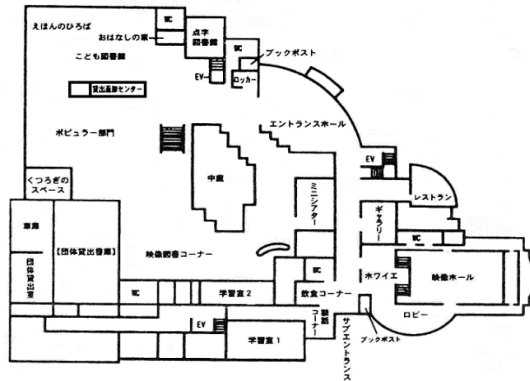
電話 092-852-0600  
FAX 092-852-0609  
開館日 平成8年6月29日

区分		階	面積(㎡)	説明	
図書資料部門	ポピュラー資料部門	1	2,409	小説、文庫本、実用書などを排架 館全体の貸出・返却センター	
	こども図書館			乳幼児から中学生までの図書や絵本、紙芝居などを排架	
	点字図書館			点字図書等の貸出、対面朗読サービス	
	学習室	1	348	利用者の読書及び学習用(174席)	
	主題別部門	2	4,000	自然科学、社会科学等のレファレンスカウンター 国際資料部門、九州国連寄託図書館	
	グループ研究室	2	36	図書館資料を使ったグループ研究用	
	パソコンルーム	2	68	インターネット利用、持参パソコンの利用	
	マイクロリーダー室	2	17	マイクロ新聞の閲覧	
	小計		6,878		
	団体貸出	団体貸出書庫	1	420	団体貸出図書の貸出・返却
		団体貸出室	1	143	
		文庫連絡室	1	35	
		車庫	1	119	
		小計		717	
	図書保存	新聞収蔵庫	3	460	古い新聞の保存・利用
		書庫出納室	4	30	最大120万冊の保存、 自動搬送機でカウンターへ搬送
		通常書庫	4	2,001	
		集密書庫	4	690	
		小計		3,181	
収集整理室	3	413	図書資料の受入・整理		
計		11,189			
文書資料部門	文書資料室	2	378	行政資料などを排架 公文書・古文書資料のマイクロフィルム閲覧	
	郷土・特別資料室	2	602	福岡地域に関する郷土資料、アジア文化賞 関係図書、福岡ゆかりの文学資料等を排架	
	ギャラリー	1	75	福岡ゆかりの文学資料等を展示	
	保存スペース	マイクロフィルム保存庫	2	83	公文書、古文書資料、郷土資料、新聞資料 等のマイクロフィルム保存
		文書資料書庫B	2	244	行政資料を保存
		福岡文学資料室	3	50	福岡ゆかりの文学者や団体の資料を保存
		文書資料収蔵庫2	3	125	公文書を保存
		文書資料書庫A	4	406	公文書を保存
		文書資料収蔵庫1	4	377	古文書資料等を保存
		貴重書庫	4	118	古文書資料等を保存
		小計		1,403	
	文書資料整理室	3	237	公文書、古文書資料等の受入・整理	
	文学資料整理室	3	38	福岡ゆかりの文学資料の受入・整理	
計		2,733			

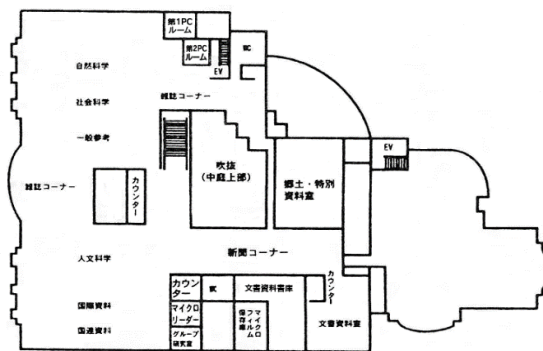


区分	階	面積(m <sup>2</sup> )	説明	
映像資料部門	映像ホール	1	932	246席、16ミリ、35ミリ映写機、ビデオプロジェクター
	ミニシアター	1	133	50席、16ミリ映写機、ビデオプロジェクター
	ビデオライブラリー	1	885	ビデオ、CD等の排架及び貸出・返却
	ビデオ・CD書庫	1	140	ビデオ、CD等の書庫
	試写室	3	144	映像資料の試写室、調整室
	AV調整室	3	99	
	フィルム収蔵庫	3	236	恒温恒湿(温度5度、湿度45%±5%)
	AV資料室	3	73	映像関係資料の保存
	AV機材庫	3	33	映像関係機材の保存
	収集整理室	3	227	映像資料の収集・整理
	計		2,902	
共通	エントランスホール	1	498	
	会議室	3	370	第1会議室150席・第2会議室75席
	事務室等	3	1,398	各部門の事務室等
	電算室等	3	201	電算室・入力室・帳票保管庫
	点字図書館事務室等	3	143	事務室、録音室
	その他		4,686	
	計		7,296	
合計		24,120		

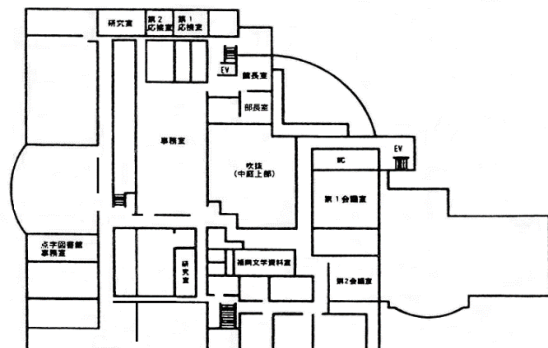
(1階)



(2階)



(3階)



## 2. 分館の施設概要

<b>東図書館</b>	福岡市東区香住ヶ丘一丁目12番1号 東市民センター内 TEL(092)661-2125 FAX(092)661-2129 昭和52年7月16日開館/361㎡(1階) (鉄筋コンクリート造3階建一部4階建、延3,085㎡)
<b>和白図書館</b>	福岡市東区和白丘一丁目22番27号 和白地域交流センター内 TEL(092)608-8490 FAX(092)608-8495 平成15年8月9日開館/630㎡(4階) (鉄筋コンクリート造6階建、延4,923㎡)
<b>博多図書館</b>	福岡市博多区山王一丁目13番10号 博多市民センター内 TEL(092)472-5996 FAX(092)472-5999 昭和58年8月26日開館/541㎡(3階) (鉄筋コンクリート造5階建 延4,123㎡)
<b>博多南図書館</b>	福岡市博多区南本町二丁目3番1号 博多南地域交流センター内 TEL(092)502-8580 FAX(092)502-8579 平成12年1月30日開館/562㎡(2階) (鉄筋コンクリート造11階建、延18,279㎡うち福岡市部分8,577㎡)
<b>中央図書館</b>	福岡市中央区赤坂二丁目5番8号 中央市民センター内 TEL(092)751-9534 FAX(092)751-9535 昭和55年3月23日開館/486㎡(1階) (鉄筋コンクリート造3階建一部4階建、延3,406㎡)
<b>南図書館</b>	福岡市南区塩原二丁目8番2号 南市民センター内 TEL(092)561-3048 FAX(092)561-3054 昭和53年7月22日開館/478㎡(1階) (鉄筋コンクリート造3階建、延5,218㎡)
<b>城南図書館</b>	福岡市城南区片江五丁目3番25号 城南市民センター内 TEL(092)864-4823 FAX(092)864-4824 昭和59年8月1日開館/562㎡(1階) (鉄筋コンクリート造4階建、延4,068㎡)
<b>早良図書館</b>	福岡市早良区百道二丁目2番1号 早良市民センター内 TEL(092)845-8835 FAX(092)845-8841 昭和57年2月14日開館/520㎡(2階) (鉄筋コンクリート造4階建一部5階建、延4,099㎡)
<b>西図書館</b>	福岡市西区内浜一丁目4番39号 西市民センター内 TEL(092)884-3874 FAX(092)884-3895 昭和63年3月1日開館/453㎡及び児童図書室99㎡ 計552㎡(1階) (鉄筋コンクリート造4階建、延5,208㎡)
<b>西部図書館</b>	福岡市西区西都二丁目1番1号 西部地域交流センター内 TEL(092)807-8802 FAX(092)807-8884 平成22年7月20日開館/610㎡(2階) (鉄筋コンクリート造3階建、延6,762㎡)

※ 市民センター内にある分館の開館年月日は、市民センターの開館年月日を表示

## 3. 総合図書館及び分館の入館者数

(単位:人)

	平成25年度	平成24年度	平成23年度
総合図書館	1,809,714	1,794,548	2,024,255
東図書館	162,357	150,404	—
和白図書館	262,574	220,286	—
博多図書館	163,622	178,256	—
博多南図書館	241,999	193,057	—
中央図書館	292,079	266,336	—
南図書館	209,424	205,296	—
城南図書館	308,426	344,622	—
早良図書館	208,378	202,668	—
西図書館	299,993	295,396	—
西部図書館	265,023	228,544	—
分館合計	2,413,875	2,284,865	—
総合計	4,223,589	4,079,413	2,024,255

## IV. 図 書 館 活 動

### 1. 図書資料部門

#### 図書資料部門（総合図書館）の概要

(1) 基本方針

図書資料部門は、総合図書館を生涯学習推進の中核施設と位置づけ、学習・情報・文化などの各分野において多様化・高度化する市民ニーズに的確に応えるため、市民生活に密着した情報提供を行うとともに、

ア 本市の図書館システム全体を統括するセンター機能

イ 幅広い豊富な資料を備える、高度で多様なレファレンスの中核機能

ウ 特にアジアを中心とした国際資料・情報の収集・提供を図る国際資料センター機能を有する福岡市の中央図書館としてその整備充実を図る。

(2) 事業概要

ア 図書資料の収集・整理・保存

総合図書館は各分館との緊密なネットワークを構成し、図書、逐次刊行物、新聞の収集について一層の充実を努め、本館での基本資料の一元的保存を行う。

イ 特別収書

世界の絵本について収集を行う。

ウ レファレンスサービスの充実

利用者から寄せられる質問・相談に対し、一般参考、人文科学、社会科学、自然科学、郷土、国際、国連などの主題別部門コレクションを基盤とし、オンラインデータベース等の電子情報を活用してレファレンスサービスの充実を図る。

また、ビジネスに関連して図書館を利用するケースに対して、レファレンスとしての情報提示、各業種団体から寄贈を受けた業界誌の排架、各種国家資格取得のための教科書を集めたコーナーの充実による就業支援などを実施する。

エ 団体貸出

地域文庫をはじめとする地域団体、留守家庭子ども会や学校・PTA等の登録団体に対し図書館車や配本車による図書資料の団体貸出を行い、子ども達をはじめ広く市民の読書活動への支援を行う。

オ 読書普及活動

読書活動ボランティア講座や講演会等を行う。

カ 各種図書館間協力ネットワークの構築

県内公共図書館、国立国会図書館、大学図書館、専門図書館との相互協力ネットワークの推進を図る。

キ 予約本の受け取り、返却サービスの充実

交通不便等の理由により来館困難な方への利用者サービスの向上を図るため、市中心部、交通結節点など市内8カ所に図書返却ポスト等を設置するとともに、有料宅配サービスを実施している。

また、福岡県立図書館との相互返却サービスの提供も行っている。

ク 学校図書館への支援体制の整備

学校図書館の活性化を図るため、平成26年度中に、総合図書館内に「学校図書館支援センター」を設置し、公共図書館としての支援策を検討の上、平成27年度の本格実施に向けて、準備を進める。

ケ 司書資格の取得

文部科学省の委嘱を受けて大学で実施する司書講座を職員に受講させることにより、総合図書館職員の司書資格取得を推進する。

また、文部科学省司書専門講座や図書館地区別研修への派遣、各種会議への参加により、司書職員の専門性の向上に努める。

(3) 26年度の主な事業

事 業 名	内 容	実 施 時 期
大学図書館とのネットワーク	大学図書館の資料を市民が利用できるようにするため、平成13年3月から大学図書館との相互貸借を開始し、現在9大学13図書館と実施している。今後も、大学図書館との相互協力を推進する。	通 年
ボランティア受入	生涯学習の観点から市民に自己啓発・自己実現の場を提供するため、図書館活動に協力できるボランティア受入を推進する。	通 年

事業名	内容	実施時期
読書活動 ボランティア講座	地域における子どもの読書活動を推進するためのボランティアの資質向上を目的として実施する。	6月～11月
おはなし会	読み聞かせやストーリーテリング等の子どもと本の出会いの場をつくり、子ども達への読書普及を図る。	通年

### 図書資料部門（分館）の概要

平成8年の総合図書館の設置を機会に、それまでの市民センター内図書室を総合図書館の分館として位置付け、相互に緊密な連携を図り図書館サービスの充実を図っている。

- (1) 総合図書館との連携
  - ア 図書の選定及び購入の一体化
    - (ア) 総合図書館で、見計らい新刊書等により選定
    - (イ) 発注、購入事務は、総合図書館で一括管理、整備基準も同一
  - イ サービス方法の一体化
    - (ア) 同一の電算オンラインシステムによる登録、貸出、返却（図書貸出カード各館共通利用）
    - (イ) 図書の相互貸借による効率的利用
    - (ウ) レファレンス業務の有機的連携
    - (エ) 全市的な予約受付による迅速な資料提供
  - ウ 各種読書行事の共同開催
  - エ 連絡会、研修会等の開催
  - オ 連絡車を毎日運行

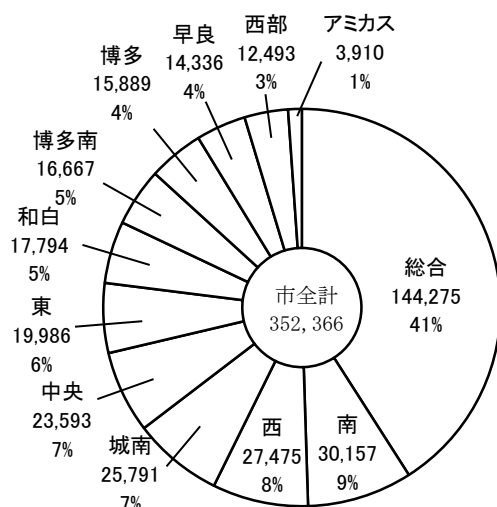
- (2) 蔵書及び奉仕活動

各館の図書収容能力は約60,000冊である。一般図書については、教養、家事、趣味、小説などを主として、特に女性や高齢者対象の実用書も充実している。児童図書は誰でも気軽に親しみやすい絵本、物語、むかしばなし、童話や紙芝居などを所有している。また「おはなし会」その他の読書行事等を実施し、地域での読書普及活動に努めている。

### 総合図書館・分館の活動及び実績

- (1) 資料の利用状況

- ア 個人登録者数館別構成（単位：人）



イ 個人登録者の構成(平成26年3月31日現在)

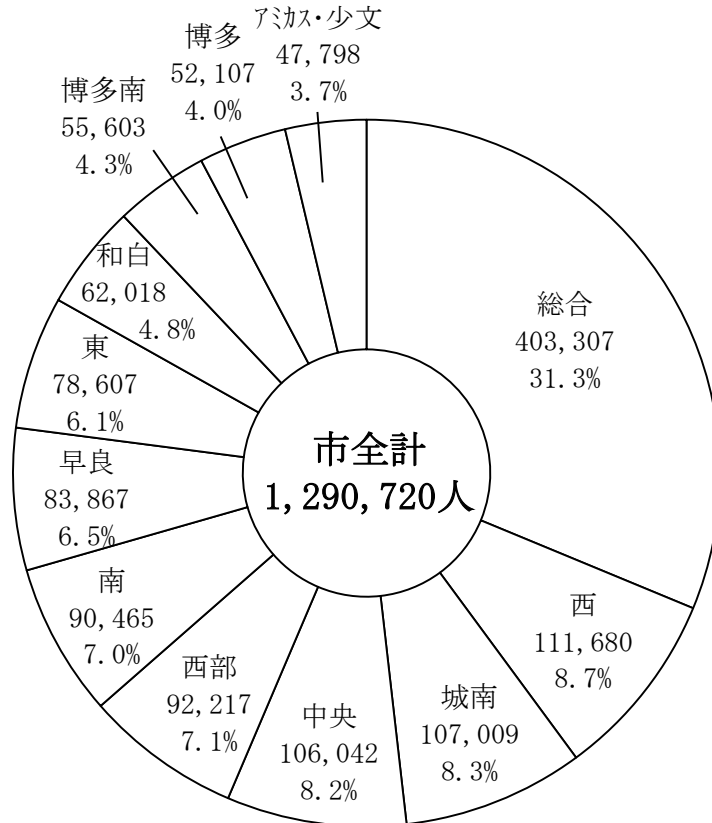
区 分		男	女	計	構成比
総合図書館	児童	5,884	6,403	12,287	8.5%
	生徒	5,063	6,257	11,320	7.9%
	一般	52,177	68,491	120,668	83.6%
	計	63,124	81,151	144,275	-
東図書館	児童	1,022	1,185	2,207	11.0%
	生徒	748	1,039	1,787	9.0%
	一般	5,598	10,394	15,992	80.0%
	計	7,368	12,618	19,986	-
和白図書館	児童	804	924	1,728	9.7%
	生徒	768	1,009	1,777	10.0%
	一般	4,454	9,835	14,289	80.3%
	計	6,026	11,768	17,794	-
博多図書館	児童	847	948	1,795	11.3%
	生徒	538	725	1,263	7.9%
	一般	4,871	7,960	12,831	80.8%
	計	6,256	9,633	15,889	-
博多南図書館	児童	909	947	1,856	11.1%
	生徒	705	943	1,648	9.9%
	一般	4,185	8,978	13,163	79.0%
	計	5,799	10,868	16,667	-
中央図書館	児童	761	869	1,630	6.9%
	生徒	500	701	1,201	5.1%
	一般	7,027	13,735	20,762	88.0%
	計	8,288	15,305	23,593	-
南図書館	児童	1,430	1,728	3,158	10.5%
	生徒	1,323	1,647	2,970	9.8%
	一般	8,047	15,982	24,029	79.7%
	計	10,800	19,357	30,157	-
城南図書館	児童	1,407	1,600	3,007	11.7%
	生徒	1,160	1,612	2,772	10.7%
	一般	7,015	12,997	20,012	77.6%
	計	9,582	16,209	25,791	-
早良図書館	児童	712	758	1,470	10.3%
	生徒	510	710	1,220	8.5%
	一般	3,207	8,439	11,646	81.2%
	計	4,429	9,907	14,336	-
西図書館	児童	1,390	1,651	3,041	11.1%
	生徒	1,236	1,715	2,951	10.7%
	一般	6,404	15,079	21,483	78.2%
	計	9,030	18,445	27,475	-
西部図書館	児童	1,055	1,252	2,307	18.5%
	生徒	455	723	1,178	9.4%
	一般	2,913	6,095	9,008	72.1%
	計	4,423	8,070	12,493	-
分館計	児童	10,337	11,862	22,199	10.9%
	生徒	7,943	10,824	18,767	9.2%
	一般	53,721	109,494	163,215	79.9%
	計	72,001	132,180	204,181	-
福岡市男女共同参画 推進センター アミカス図書室	児童	74	125	199	5.1%
	生徒	49	92	141	3.6%
	一般	628	2,942	3,570	91.3%
	計	751	3,159	3,910	-
合 計	児童	16,295	18,390	34,685	9.8%
	生徒	13,055	17,173	30,228	8.6%
	一般	106,526	180,927	287,453	81.6%
	計	135,876	216,490	352,366	-

ウ 個人貸出利用者数

(単位:人)

区 分	平成25年度			平成24年度	平成23年度	平成22年度
	男性	女性	計			
総合図書館	196,614	206,693	403,307	411,213	435,880	454,398
分 館 等	東 図書館	34,705	43,902	78,607	77,957	82,919
	和白 図書館	23,795	38,223	62,018	64,699	71,448
	博多 図書館	22,293	29,814	52,107	52,932	55,514
	博多南 図書館	21,175	34,428	55,603	57,674	60,442
	中央 図書館	42,806	63,236	106,042	107,820	113,066
	南 図書館	37,092	53,373	90,465	91,977	100,894
	城南 図書館	45,574	61,435	107,009	109,317	117,253
	早良 図書館	28,971	54,896	83,867	86,672	89,165
	西 図書館	41,169	70,511	111,680	111,318	115,667
	西部 図書館	34,859	57,358	92,217	92,673	94,592
	アリス・少年科学 文化会館	11,880	35,918	47,798	45,828	40,886
	計	344,319	543,094	887,413	898,867	941,846
	合 計	540,933	749,787	1,290,720	1,310,080	1,377,726

平成25年度個人貸出利用者数 館別構成



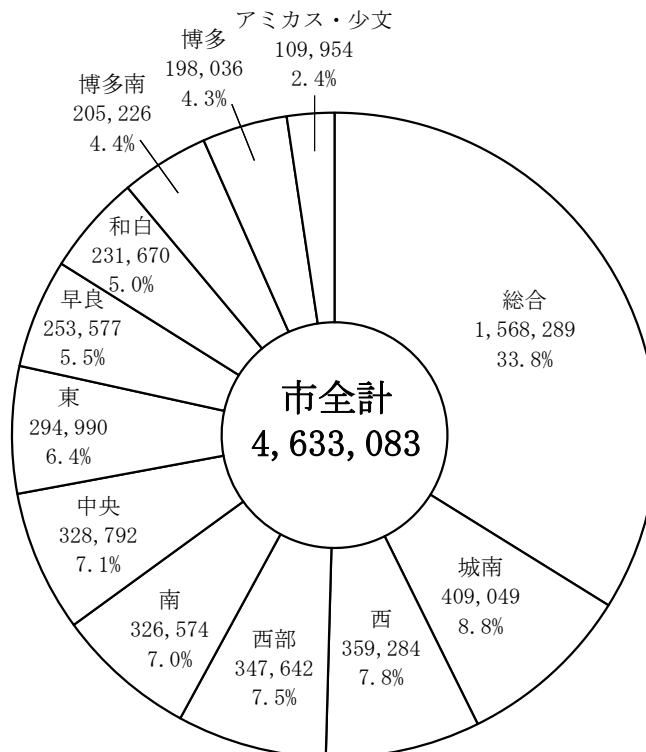
エ 個人貸出冊数

(単位:冊、%)

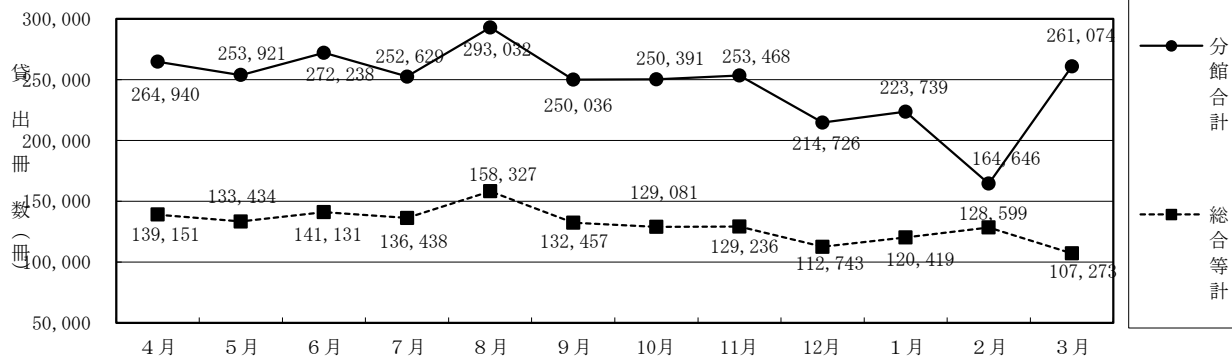
区 分	平成25年度			自動貸出機 利用冊数	平成24年度	平成23年度	平成22年度	
	一般	児童	計					
総合図書館	1,145,453	422,836	1,568,289	697,805 44.5%	1,612,287	1,731,777	1,823,189	
分 館 等	東図書館	204,615	90,375	294,990	195,715 66.3%	302,233	324,706	315,083
	和白図書館	160,824	70,846	231,670	172,949 74.7%	240,994	274,705	298,379
	博多図書館	135,059	62,977	198,036	106,721 53.9%	208,215	221,962	221,635
	博多南図書館	137,707	67,519	205,226	116,617 56.8%	214,513	228,992	234,394
	中央図書館	249,369	79,423	328,792	192,734 58.6%	342,391	366,219	362,782
	南図書館	216,128	110,446	326,574	167,426 51.3%	339,636	379,908	394,012
	城南図書館	276,632	132,417	409,049	194,821 47.6%	428,706	472,751	489,633
	早良図書館	186,943	66,634	253,577	129,867 51.2%	266,968	279,153	295,962
	西図書館	246,480	112,804	359,284	152,374 42.4%	364,611	386,357	421,715
	西部図書館	231,571	116,071	347,642	209,877 60.4%	357,243	375,357	272,763
	アミカス・少年科学 文化会館	94,125	15,829	109,954	0 0.0%	109,834	109,779	96,697
	計	2,139,453	925,341	3,064,794	1,639,101 55.5%	3,175,344	3,419,889	3,403,055
	合 計	3,284,906	1,348,177	4,633,083	2,336,906 50.4%	4,787,631	5,151,666	5,226,244

※「自動貸出機利用冊数」は、貸出冊数計の内、自動貸出機を利用して貸出された冊数及び貸出冊数計に占める割合

平成25年度貸出冊数 館別構成



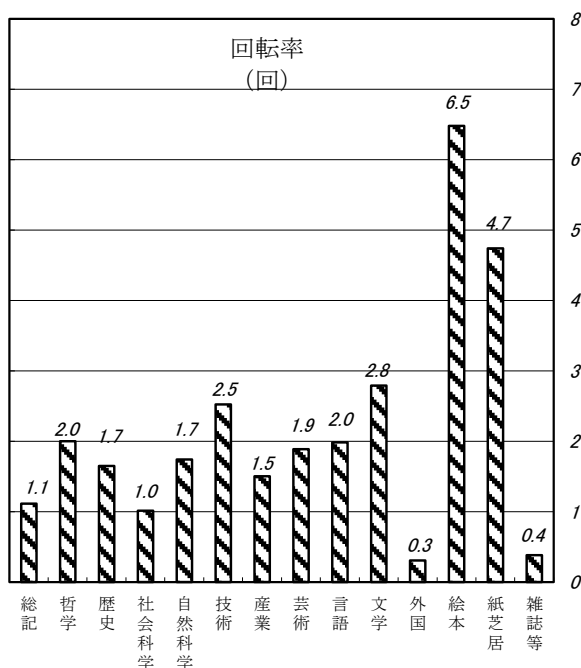
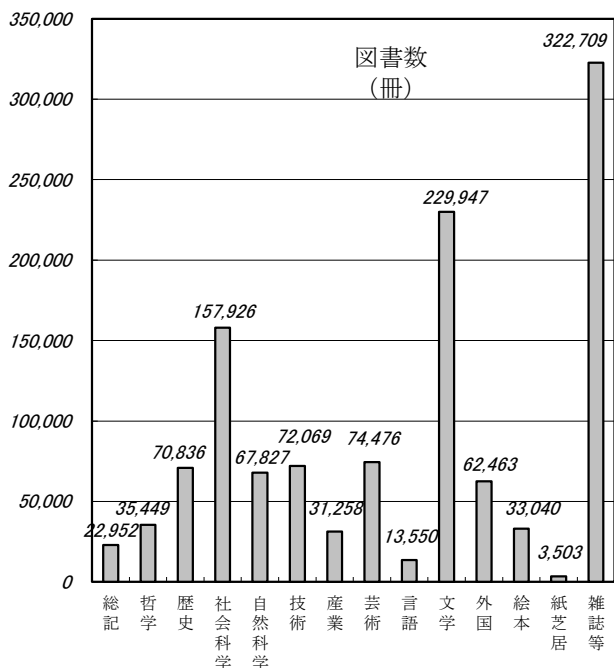
オ 月別貸出冊数の推移(平成25年度)



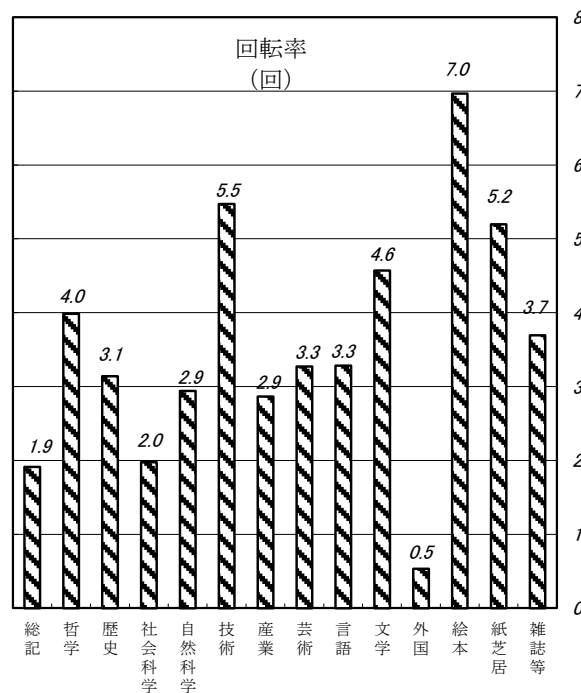
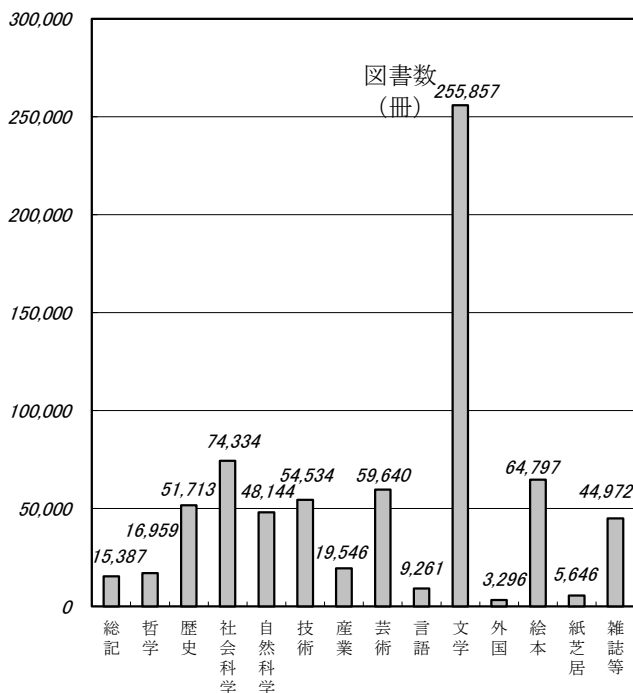
※ 総合の図書特別整理期間：3月10日から3月19日。  
 ※ 分館の図書特別整理期間：2月3日から2月28日。

カ 貸出可能図書分類別利用状況(平成25年度)

(ア) 総合図書館



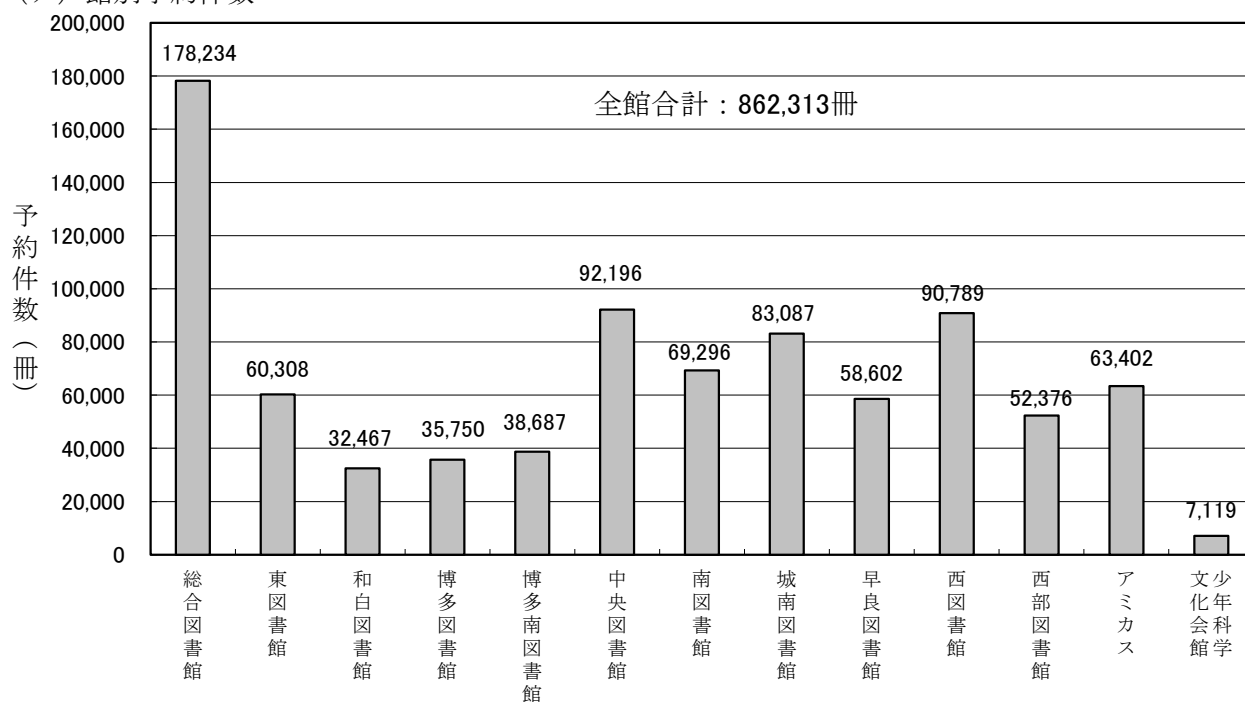
(イ) 分館



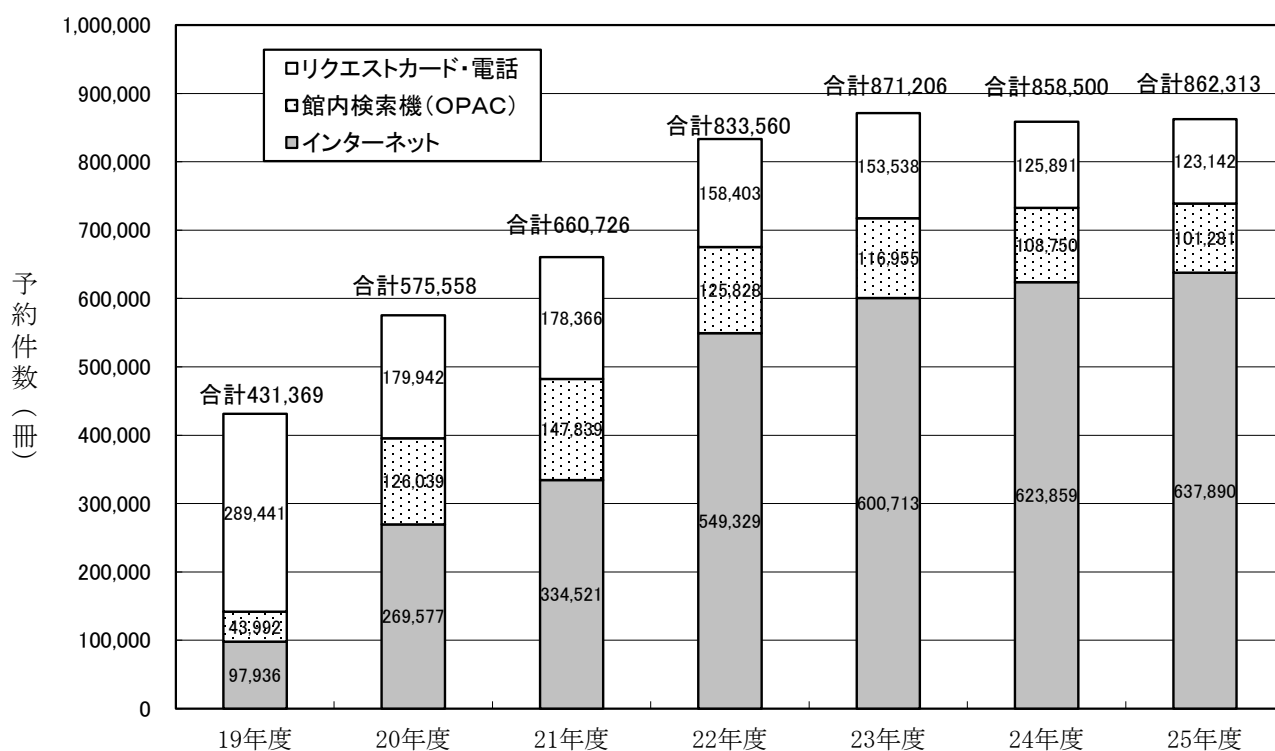


キ 予約（リクエスト）サービス（平成25年度）

(ア) 館別予約件数



(イ) 方法別予約件数の推移



(ウ) Web OPAC検索件数

年 度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
アクセス件数	948,764	1,015,654	1,063,985	1,148,197

※ インターネットからの蔵書検索回数

(2) 資料の収集状況  
ア 図書

区 分		平成25年度収集			除籍等	平成25年度末 蔵書冊数	
		購入	寄贈等	計			
総合 図書 館	一般	一般図書	9,438	4,504	13,942	5,654	714,145
		参考図書	753	183	936	87	63,991
		国際資料	1,659	389	2,048	17	70,984
		郷土資料	396	757	1,153	0	97,603
		小計	12,246	5,833	18,079	5,758	946,723
	子ども	児童研究資料	307	122	429	248	28,400
		児童資料	1,924	1,760	3,684	687	105,494
		小計	2,231	1,882	4,113	935	133,894
	団体貸出	一般図書	1,084	64	1,148	3,025	57,207
		児童図書	2,985	4	2,989	2,073	144,921
		小計	4,069	68	4,137	5,098	202,128
	計		18,546	7,783	26,329	11,791	1,282,745
	東	一般図書	1,434	355	1,789	2,247	43,441
		児童図書	508	199	707	896	18,667
		小計	1,942	554	2,496	3,143	62,108
和 白	一般図書	1,480	236	1,716	2,110	54,312	
	児童図書	683	54	737	661	22,161	
	小計	2,163	290	2,453	2,771	76,473	
博 多	一般図書	1,577	273	1,850	2,246	45,145	
	児童図書	507	49	556	1,156	20,634	
	小計	2,084	322	2,406	3,402	65,779	
博 多 南	一般図書	1,350	141	1,491	2,175	47,568	
	児童図書	604	40	644	803	27,737	
	小計	1,954	181	2,135	2,978	75,305	
中 央	一般図書	1,480	342	1,822	1,606	45,829	
	児童図書	423	56	479	141	20,035	
	小計	1,903	398	2,301	1,747	65,864	
南	一般図書	1,505	276	1,781	2,554	46,647	
	児童図書	407	50	457	2,056	17,485	
	小計	1,912	326	2,238	4,610	64,132	
城 南	一般図書	1,458	230	1,688	2,734	44,968	
	児童図書	549	62	611	1,264	18,465	
	小計	2,007	292	2,299	3,998	63,433	
早 良	一般図書	1,480	182	1,662	2,187	41,568	
	児童図書	481	75	556	515	19,231	
	小計	1,961	257	2,218	2,702	60,799	
西	一般図書	1,355	336	1,691	1,051	42,735	
	児童図書	620	209	829	447	18,403	
	小計	1,975	545	2,520	1,498	61,138	
西 部	一般図書	1,376	260	1,636	287	49,837	
	児童図書	420	101	521	60	15,932	
	小計	1,796	361	2,157	347	65,769	
分館計		19,697	3,526	23,223	27,196	660,800	
合計		38,243	11,309	49,552	38,987	1,943,545	

(単位：冊)

平成24年度末 蔵書冊数	平成23年度末 蔵書冊数	平成22年度末 蔵書冊数	平成21年度末 蔵書冊数	平成20年度末 蔵書冊数	平成19年度末 蔵書冊数
705,857	696,922	692,222	681,659	667,304	650,650
63,142	62,159	61,184	60,090	58,905	57,797
68,953	67,475	65,225	63,083	61,313	59,561
96,450	95,525	93,314	92,336	88,299	86,521
934,402	922,081	911,945	897,168	875,821	854,529
28,219	27,337	26,846	26,340	26,070	25,746
102,497	101,820	101,425	100,726	99,585	98,685
130,716	129,157	128,271	127,066	125,655	124,431
59,084	59,628	58,972	58,069	57,114	56,171
144,005	142,267	140,078	136,942	135,850	132,061
203,089	201,895	199,050	195,011	192,964	188,232
1,268,207	1,253,133	1,239,266	1,219,245	1,194,440	1,167,192
43,899	44,461	43,494	44,229	44,931	44,850
18,856	18,640	18,267	17,997	18,765	18,195
62,755	63,101	61,761	62,226	63,696	63,045
54,706	54,394	54,740	55,568	54,789	54,020
22,085	21,710	21,544	21,360	20,743	19,933
76,791	76,104	76,284	76,928	75,532	73,953
45,541	45,333	47,969	47,305	47,578	47,592
21,234	21,262	22,135	21,851	21,901	21,656
66,775	66,595	70,104	69,156	69,479	69,248
48,252	47,282	47,646	48,141	49,121	52,192
27,896	27,334	27,122	26,823	26,865	26,819
76,148	74,616	74,768	74,964	75,986	79,011
45,613	44,909	44,503	44,974	44,770	45,816
19,697	19,440	18,931	18,898	18,588	18,302
65,310	64,349	63,434	63,872	63,358	64,118
47,420	49,057	50,105	50,096	53,969	51,612
19,084	19,718	20,201	20,230	20,634	19,918
66,504	68,775	70,306	70,326	74,603	71,530
46,014	48,119	48,150	48,474	48,504	47,887
19,118	19,632	19,493	19,374	19,296	19,055
65,132	67,751	67,643	67,848	67,800	66,942
42,093	41,819	42,135	42,152	44,470	44,955
19,190	19,190	19,344	19,157	19,750	19,171
61,283	61,009	61,479	61,309	64,220	64,126
42,095	41,504	43,223	44,304	46,696	50,309
18,021	18,124	18,702	18,983	19,522	20,353
60,116	59,628	61,925	63,287	66,218	70,662
48,488	46,617	45,069	0	0	0
15,471	14,955	14,520	0	0	0
63,959	61,572	59,589	0	0	0
664,773	663,500	667,293	609,916	620,892	622,635
1,932,980	1,916,633	1,906,559	1,829,161	1,815,332	1,789,827

イ 逐次刊行物収集一覧(平成26年4月1日現在)

館名	購入						その他の寄贈	
	雑誌		新聞		法令集 追録	国会議 事録他	雑誌	新聞
	日本	外国	日本	外国				
総合図書館	508種	47種	46種	18種	7種	2種	595種	16種
東図書館	70種	—	7種	—	—	—	4種	2種
和白図書館	124種	—	7種	—	—	—	5種	3種
博多図書館	77種	—	5種	—	—	—	5種	1種
博多南図書館	84種	—	5種	—	—	—	5種	2種
中央図書館	78種	—	6種	—	—	—	5種	2種
南図書館	77種	—	5種	—	—	—	8種	0種
城南図書館	76種	—	6種	—	—	—	8種	2種
早良図書館	78種	—	5種	—	—	—	5種	2種
西図書館	72種	—	5種	—	—	—	4種	2種
西部図書館	72種	—	7種	—	—	—	4種	3種

ウ マイクロフィルム (平成26年4月1日現在)

(単位：巻)

新聞	雑誌	明治期刊行図書	官報	一般資料	計
5,792	53	16,358	1,079	722	24,004

エ CD-ROM、DVD-ROM (平成26年4月1日現在) タイトル数 12種類  
 オンラインデータベース (平成26年4月1日現在) タイトル数 7種類

(3) その他の利用状況

ア 個人貸出部門

(ア) 相談事務 (平成25年度)

① 主題別部門

(単位：件)

区分	窓口相談	電話相談	文書相談	計
レファレンス	26,947	10,456	43	37,446
利用案内	7,492	1,450	0	8,942
計	34,439	11,906	43	46,388

レファレンスの部門別内訳

(単位：件)

区分	所蔵調査	書誌調査	文献調査	事実調査	計	
一般参考部門	口頭	592	0	243	292	1,127
	電話	237	0	13	44	294
	文書・FAX	0	0	0	0	0
	計	829	0	256	336	1,421
人文科学部門	口頭	7,597	93	5,457	618	13,765
	電話	6,031	93	686	146	6,956
	文書・FAX	1	2	17	7	27
	計	13,629	188	6,160	771	20,748
社会科学部門	口頭	1,839	22	1,365	114	3,340
	電話	787	8	171	37	1,003
	文書・FAX	1	0	6	2	9
	計	2,627	30	1,542	153	4,352
自然科学部門	口頭	1,511	13	1,287	69	2,880
	電話	924	8	224	33	1,189
	文書・FAX	0	0	5	1	6
	計	2,435	21	1,516	103	4,075
国際資料部門	口頭	3,045	24	1,780	269	5,118
	電話	652	3	241	13	909
	文書・FAX	0	1	0	0	1
	計	3,697	28	2,021	282	6,028
国連資料部門	口頭	263	69	254	131	717
	電話	34	2	25	44	105
	文書・FAX	0	0	0	0	0
	計	297	71	279	175	822
計	口頭	14,847	221	10,386	1,493	26,947
	電話	8,665	114	1,360	317	10,456
	文書・FAX	2	3	28	10	43
	計	23,514	338	11,774	1,820	37,446

②ポピュラー部門（平成25年度）（単位：件）

区 分	窓口相談	電話相談	計
レファレンス	15,190	10	15,200
利用案内	12,317	5,269	17,586
計	27,507	5,279	32,786

③こども図書館（平成25年度）（単位：件）

区 分	窓口相談	電話相談	計
レファレンス	10,569	52	10,621
利用案内	7,278	61	7,339
計	17,847	113	17,960

④各分館（平成25年度）

（単位：件）

区 分	東		和白		博多		博多南		中央		南		城南		早良		西		西部		計	
	窓口	電話	窓口	電話	窓口	電話	窓口	電話	窓口	電話	窓口	電話	窓口	電話	窓口	電話	窓口	電話	窓口	電話	窓口	電話
レファレンス	1,816	344	2,580	566	1,560	534	2,768	659	3,912	588	1,638	756	3,518	2,224	2,671	688	2,913	1,361	830	145	24,206	7,865
利用案内	2,356	1,318	2,357	1,311	1,556	938	818	636	4,480	3,694	1,452	1,768	4,695	2,464	2,141	1,454	3,661	1,800	959	563	24,475	15,946
計	4,172	1,662	4,937	1,877	3,116	1,472	3,586	1,295	8,392	4,282	3,090	2,524	8,213	4,688	4,812	2,142	6,574	3,161	1,789	708	48,681	23,811

(イ) 複写サービス（平成25年度）

区 分	枚 数
電 子（モノクロ）	387,353（CD-ROM含む）
電 子（カラー）	5,059
マ イ ク ロ	11,616
計	404,028

(ウ) マイクロフィルム、CD-ROM等閲覧件数(平成25年度)

区 分	閲 覧 件 数
マイクロフィルム	2,158
C D - R O M	1,402
インターネット	7,636

※郷土資料は除く

(エ) ボランティア活動実績

区 分	平成25年度	平成24年度	平成23年度
登 録 者	145人	115人	77人
1日平均活動人数	6.71人	6.87人	5.46人
1回あたりの平均活動時間	2時間7分	2時間8分	2時間6分
総 活 動 時 間	4,084時間	4,175時間	3,318時間

イ 団体貸出部門

(ア) 登録団体(各年度：4月1日現在)

区 分	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
	団体	会員数	団体	会員数	団体	会員数	団体	会員数	団体	会員数
公 民 館	57	6,850	57	6,670	55	6,670	55	6,285	56	7,819
留守家庭 子ども会	118	9,927	118	9,756	116	9,493	116	9,396	114	8,954
集 会 所 等	58	9,978	56	9,492	45	7,875	47	8,252	46	7,381
学校・P T A	72	28,775	67	26,127	65	26,127	66	25,504	61	23,492
高齢者施設等	39	4,285	34	3,540	29	3,292	29	3,180	32	3,105
計	344	59,815	332	55,585	310	53,457	313	52,617	309	50,751

(イ) 区別登録団体数(各年度：4月1日現在)

年 度	東	博多	中央	南	城南	早良	西	計
平成26年度	73	35	31	39	29	85	52	344
平成25年度	71	33	31	39	27	80	51	332
平成24年度	67	31	29	37	25	73	48	310
平成23年度	67	33	31	37	24	71	50	313
平成22年度	66	31	32	38	24	71	47	309

(ウ) 団体貸出状況

区 分	児 童		一 般		計	
	配本冊数	利用冊数	配本冊数	利用冊数	配本冊数	利用冊数
平成25年度	200,086	236,100	36,369	43,593	236,455	279,693
平成24年度	192,151	228,778	34,598	41,515	226,749	270,293
平成23年度	197,534	236,898	35,589	42,708	233,123	279,606
平成22年度	191,986	221,076	35,629	40,067	227,615	261,143
平成21年度	193,176	218,512	36,280	40,000	229,456	258,512

## (4) 読書普及活動（平成25年度）

ア 読書行事  
総合図書館

行 事 名		月 日	内 容	講師等(敬称略)	延べ 参加人数等
文庫活動ボランティア講座	初心者コース	5月22日(水)	読み聞かせの基本	語りの森代表 富原美智子	363
		5月29日(水)	読み聞かせの実際	福岡おはなしの会会員	
		6月4・7・11日 のうち1日	読み聞かせの実習1	〃	
		6月18・19・21日 のうち1日	読み聞かせの実習2	〃	
	経験者コース	9月20日(金)	ストーリーテリングの実演	福岡おはなしの会会員	90
		9月27日(金)	ストーリーテリングの基本	語りの森代表 富原美智子	
		10月16・18日 のうち1日	ストーリーテリングの実習	福岡おはなしの会会員	
		10月25・29日 のうち1日	〃	〃	
おはなし会	毎週土曜日 日曜日 (101回)	おはなし、絵本の読み聞かせ、紙芝居	図書館職員 福岡おはなしの会会員	3,947	
こぐまちゃんおはなし会	毎月第2金曜日 (12回)	0～2歳児と保護者を対象に、わらべうた、絵本の読み聞かせ	福岡おはなしの会会員	1,076	
こどもの日特別おはなし会	5月5日(日)	おはなし、絵本の読み聞かせ等	福岡おはなしの会会員	189	
一日おはなし会	7月23日(火)	おはなし、絵本の読み聞かせ等	福岡おはなしの会会員 (共催)	309	
クリスマス特別おはなし会	12月22日(日)	おはなし、パネルシアター、ペープサード、紙芝居等	福岡おはなしの会会員	453	
布の絵本講習会	5月16日(木) ～ 6月20日(木) (全6回)	手づくり布の絵本作成の講習	手づくり布の絵本の会 (共催)	577	
小学生読書リーダー養成講座	6月22日(土) 6月29日(土)	小学4～6年生を対象に、読書の意義、図書館の本の探し方、絵本の読み聞かせ等の講習を行い、学校図書館活動の実践での活用を図る。	図書館職員 福岡おはなしの会会員 (主催 生涯学習課)	140 (認定者数)	
夏休み図書館の達人講座	8月2日(金) 8月9日(金)	子ども達に夏休みの自由研究等にも役立つ、図書館を利用した調べ学習の方法を学んでもらい、図書館利用に関する基本的知識を習得してもらう。	図書館職員	36	
福岡市ブックスタート事業「絵本ふれあいタイム」ボランティア研修	9月26日(木)	乳幼児の4か月児健診の機会に、赤ちゃんに絵本を手渡すブックスタート事業で、絵本の読み聞かせの楽しみ方や赤ちゃんとの遊び方等を説明、実演するボランティアの研修	石川文代 小さなぐみの木主催 (語りの会)	39	
手から手へ展 (FROM HAND TO HAND) 絵本作家から子どもたちへ 3.11後のメッセージ	2月4日(火)～ 2月23日(日)	「3.11後の世界から私たちの未来を考える」をテーマに、日本の絵本作家と世界の絵本作家の作品を展示。	手から手へ実行委員会 医療法人元気が湧く (共催)	4,139	

分館

分館名	行事名	回数	参加人数	分館名	行事名	回数	参加人数	
東図書館	どようおはなし会	47	490	中央図書館	土曜おはなし会	46	553	
	赤ちゃんおはなし会	12	239		赤ちゃんおはなし会	11	546	
	七夕会	1	26		夏のおはなし会	1	36	
	こわ〜いおはなし会	1	20		冬のおはなし会	1	43	
	クリスマス会	1	51		南図書館	子どもおはなし会	48	874
和白図書館	どようおはなし会	48	573	赤ちゃんおはなし会		12	762	
	赤ちゃんおはなし会	12	227	子どものつどい		1	80	
	クリスマスおはなし会	1	33	クリスマスおはなし会		1	165	
	おりがみ教室	1	42	城南図書館		どようおはなし会	48	873
博多図書館	どようおはなし会	31	372		春のスペシャルおはなし会	1	46	
	赤ちゃんむけおはなし会	12	344		秋のスペシャルおはなし会	1	94	
	はるのおはなし会	1	44		あかちゃんおはなし会	10	537	
	なつやすみおはなし会	1	55	早良図書館	どようおはなし会	48	454	
	ふゆのおはなし会	1	60		スペシャルおはなし会	1	38	
手づくり教室	12	331	おりがみきょうしつ		12	134		
手作り布の絵本の会	12	63	赤ちゃんむけおはなし会		12	783		
博多南図書館	どようおはなし会	48	812		西図書館	小学生のためのおはなし会	14	184
	赤ちゃんおはなし会	12	667	土よう子どもおはなし会		49	844	
	冬のおはなし会	1	165	小さい子のためのおはなし会		11	863	
	西部図書館	どようおはなし会	48	812		土曜おはなし会	48	1,422
		赤ちゃんおはなし会	12	667		赤ちゃんおはなし会	12	922
冬のおはなし会		1	165	夏のスペシャルおはなし会	1	62		
冬のおはなし会		1	165	冬のスペシャルおはなし会	1	48		
考古学教室		1	12	考古学教室	1	12		

イ 展示

展示部門	月	内	容
ポピュラー部門	4月	働く	
	5月	スポーツ	
	6月	空・星・地球 「海、空、大地、そして星」	
	7月	毒	
	8月	新書を読もう	
	9月	アジアンパーティー	
	10月	生きる力 「ほっとしょかん」	
	11月	図書館の活用法 「図書館再発見！」	
	12月	旅 「本で旅する世界」	
	1月	〃	
	2月	ロシア特集	
	3月	ゆたかな食生活	
	こども図書館	4月	おいしいね！
5月		空を見あげて	
6月		〃	
7月		夏休みの本棚ーなぜ？ どうして？ 調べものに役立つ本ー	
8月		〃	
9月		アジアについて	
10月		いのちをはぐくむ	
11月		ふるさと	
12月		お祝いお祭り	
1月		〃	
2月		『手から手へ展』の作家たち	
3月		草・花・木	
主題別部門 (左から人文、社会、自然)		4月	歌舞伎
	5月	日本のやきもの	子どもと子育て
	6月	水と人間	水まわりの文化
	7月	日本の神話	大衆とテレビ放送
	8月	世界を旅する	防災
	9月	未知なるアジアを求めて	アジアの装い
	10月	(統一) 図書館マンス2013 「生きる力」	
	11月	図書館	メイドインジャパン
	12月	古典を楽しむ	人権
	1月	日本のうた	昔のくらし
	2月	映画	シニアの時代
	3月	〃	〃
	国際部門	4月	Cool Japan
5月		日本カンボジア友好60周年	天体
6月		健康を考える	食を考える
7月		世界の神話	住まい
8月		世界を旅する	
9月		アジアンクッキング	
10月		福岡、九州を知ろう	
11月		インド	
12月		日本文学	
1月		ASEAN (アセアン)	
2月		和食	
3月		〃	



(5) 各種図書館間協力ネットワーク

ア 相互貸借 (平成25年度)

(単位:冊)

貸借	館種 国立国会図書館	福岡県内			小計	福岡県外	計
		福岡県立	大学	その他			
借入	40	1,842	333	5,955	8,130	607	8,777
貸出	0	630	255	4,897	5,782	1,029	6,811
計	40	2,472	588	10,852	13,912	1,636	15,588

イ 大学図書館とのネットワーク

公共図書館で所蔵していない専門書や学術書等の資料を幅広く市民に提供するため、福岡市に所在する大学の図書館と協定を結び相互貸借を行っている。

平成26年4月1日現在、9大学13図書館と協定を締結している。

(ア) 経過 (相互貸借開始日)

平成13年3月2日 九州大学中央図書館

平成14年10月1日 九州大学六本松分館、医学分館、九州芸術工科大学図書館 (九州大学芸術工学分館)  
福岡工業大学附属図書館、福岡歯科大学情報図書館、福岡女学院大学図書館

平成16年5月1日 西南学院大学図書館

平成16年10月1日 九州産業大学図書館

平成17年4月1日 福岡女子大学附属図書館

平成18年4月1日 中村学園大学図書館

平成18年11月1日 福岡大学図書館

平成20年4月1日 九州大学理系図書館、筑紫分館

平成21年2月18日 九州大学六本松分館閉館

平成21年4月1日 九州大学理系図書館が伊都図書館に改名

(イ) 相互貸借実績 (平成25年度)

借受 297冊 貸出 224冊 (市内の協定大学分のみ)

ウ 他施設図書室とのネットワーク

各分館の他に下記の図書室とネットワークを結び、利便性の向上等を図っている。

※注 A: 総合図書館・分館が所蔵する本 B: 各図書室それぞれが所蔵する本

区分	名称	福岡市男女共同参画推進センター (アミカス) 図書室	福岡市立少年科学文化会館図書室	財団法人博多駅地区土地区画整理記念会館図書室
	所在地	福岡市南区高宮三丁目3番1号	福岡市中央区舞鶴二丁目5番27号	福岡市博多区博多駅前四丁目23番9号
	TEL/FAX	(092)526-3755/526-3766	(092)771-8861/771-8863	(092)474-0102/474-0102
総合・分館の館内検索機の設置	○	○	○	
総合図書館ホームページでの蔵書検索	○ (予約や貸出延長等も可能)	×	×	
貸出カードの共通化	○ (総合・分館と同じ貸出カード)	×	×	
Aの各図書室での返却受付	○	○	○ (本を総合・分館に送付するのみ)	
Aの各図書室での予約本の受取	○	○	×	
Bの総合・分館での返却受付	○	×	○ (本を会館図書室に送付するのみ)	
Bの総合・分館での予約本の受取	○	×	×	

(6) 館外での図書貸出・返却サービス

平成22年8月から利用者の利便性向上を図るため、総合図書館および各分館などの図書館（室）閉館時間にも本の返却が出来る「図書返却ポスト」の設置等を進めている。また、自宅で図書の受け取りができる有料宅配サービスも行っている。

	設置場所	受付時間（営業時間）	25年度 返却冊数	24年度 返却冊数	設置 年月	備 考
返 却	地下鉄「博多駅（博多口）」 お客様サービスセンター （定期券うりば）	月曜～土曜 7:00～20:00 日曜・休日 9:00～20:00 休業日 1月1～3日	91,279	45,336	22年8月	ビデオ、DVD、CD、カセット 及び他市等の図書館から取り寄せ た貸出資料は返却不可
	地下鉄「別府駅」 お客様サービスセンター （定期券うりば）	月曜～金曜 7:00～19:00 休業日 土・日・休日及び 1月1～3日	45,526	23,371	22年8月	同上
	情報プラザ （福岡市役所本庁舎1階）	毎 日 9:00～20:00 休業日 12月31日～1月3日	69,508	33,593	22年8月	同上
	早良区入部出張所 （玄関前設置）	24時間利用可 年中無休	21,279	8,452	24年4月	同上
	ときめきショップ ありがた屋 （西鉄薬院駅ビル1F）	月曜～土曜 10:00～20:00 日曜・休日 10:00～18:00 休業日 年末年始	25,985	10,275	24年4月	同上 （ただし、付録DVD・CDに限り返却可）
	ハートフルショップ m o m o （地下鉄西新駅構内）	月曜～金曜 10:00～20:00 土曜 10:00～19:00 休業日 日・休日・年末年始	38,273	14,007	24年4月	同上 （ただし、付録DVD・CDに限り返却可）
	福岡県立図書館	開館時間中	11,097	2,296	24年10月	同上
	木の葉モール橋本	施設駐車場利用可能時間 7:00～24:00	-	-	26年4月	ビデオ、DVD、CD、カセット 及び他市等の図書館から取り寄せ た貸出資料は返却不可
貸 出	有料宅配サービス	リクエストカード・電話受付	141	152	24年4月	郵送料は利用者負担

## 2. 文書資料部門

### 文書資料部門の概要

#### (1) 基本方針

文書資料部門は、歴史的・文化的価値を有する本市の公文書及び行政資料、並びに郷土福岡の歴史に関する古文書資料及び郷土資料を収集・保存し、調査研究を進め、閲覧に供する「本市の資料保存センター」としての役割を果たす。

また、福岡の文学資料を収集・保存、閲覧に供し、文学をとおして福岡の文化の継承と振興を図る。

#### (2) 事業概要

##### ア 公文書等

##### (ア) 公文書

完結後30年を経過した永年保存文書及び保存期間が満了した文書で歴史的文化的価値があるものを収集、整理、保存、閲覧に供する。

- ① 収集 福岡市の各公文書規程に基づき行う。
- ② 整理・保存 資料保存のための燻蒸処理を行い、件名整理及び閲覧制限項目のチェック完了後、検索用目録の作成とマイクロフィルム撮影を行う。
- ③ 閲覧 完結後30年を経過した公文書を、文書資料室において原則としてマイクロフィルムにより閲覧に供する。

##### (イ) 行政資料

主に本市各部局が発行する刊行物等を収集・保存し、文書資料室に排架して閲覧に供する。

##### (ウ) 市議会議事録類

明治から戦後までの本市議会議事録類を、文書資料室において複製本により閲覧に供する。

#### イ 古文書資料

古代、中世、近世及び近現代の福岡に関係する歴史資料を収集、整理・保存し、閲覧に供するとともに、調査・研究を行う。

- ① 収集 購入、寄贈等による。
- ② 整理・保存 燻蒸処理し、収集資料群毎の詳細調査・整理及び補修等を行いマイクロフィルム撮影して、検索用目録を作成する。
- ③ 閲覧 文書資料室において、原則としてマイクロフィルムと複製本により閲覧に供する。

#### ウ 郷土資料

近世までは筑前国、近代以降は福岡市を中心とする福岡県内の各分野の資料、及び九州・山口各県の地方史誌等を収集、整理・保存し、閲覧に供するとともに、調査・研究を行う。

- ① 収集 購入、寄贈等による。
- ② 整理・保存 図書等の収集資料の分類や装備等（必要に応じて燻蒸処理）を行う。貴重資料はマイクロフィルム撮影を行い、閲覧用複製本を作成する。
- ③ 閲覧 郷土・特別資料室に排架して閲覧に供する。貴重資料は、原則としてマイクロフィルムと複製本により閲覧に供する。

#### エ 文学資料

福岡ゆかりの作家等に関する文学資料を収集、整理・保存し、閲覧に供する。総合図書館1階ギャラリー、赤煉瓦文化館1階展示室等では、福岡ゆかりの文学者等の著作、原稿、写真などを展示。

- ① 収集 購入、寄贈等による。
- ② 整理・保存 図書等の収集資料の分類や装備等（必要に応じて燻蒸処理）を行う。
- ③ 閲覧 郷土・特別資料室に排架して閲覧に供する。

#### オ 福岡市文学館の運営

福岡市総合図書館と福岡市赤煉瓦文化館を活用した「福岡市文学館」において、企画展・文学講座等の事業を実施し、市民の文学に関する生涯学習活動を支援する。

#### カ レファレンス業務

郷土・特別資料室及び文書資料室において、各資料に関するレファレンスを行う。

## (3) 平成26年度の主な事業

事業名	内 容	実施時期
公文書資料目録26年度版(CD-ROM)の発行	平成25年度までに収集・整理した公文書資料(永年保存文書・有期限文書)の簿冊及び件名目録を検索用として作成	平成27年3月
歴史的公文書展示	歴史的公文書に対する市民の理解と関心を深めてもらうため、文書資料室において展示を行う	年2回
郷土・特別資料室内展示	郷土に関する市民の理解と関心を深めてもらうため、資料室カウンター前等において、様々なテーマで郷土福岡の歴史などを紹介	通 年
古文書資料目録20発行	平成26年度までに収集した古文書資料の検索用目録を作成	平成27年3月
古文書学講座	古代・中世・近世・近代の古文書に関する講座を開催	9月～10月
企画展(文学)	福岡ゆかりの文学者や文学作品、福岡での様々な文学活動を紹介する展覧会を開催	11月～12月
文学講座	福岡の文学について、市民の理解と関心を深めてもらうための文学講座を実施	通 年

**文書資料部門の活動及び実績**

## (1) 資料の収集状況(平成26年3月31日現在)

資料内容	公文書	行政資料	古文書資料	郷土資料	文学資料
冊・点数	29,199冊	43,941点	67,262点	97,603点	21,427点

※ 郷土資料数は、15ページ「図書資料部門の活動及び実績(2)資料の収集状況」中の「郷土資料」蔵書冊数を再掲。(逐次刊行物を除く)

## (2) 資料の利用状況(平成25年度)

(単位:件)

利用内容	レファレンス	利用案内	閲覧	複写
件数	5,100	2,909	97	111

※ 閲覧・複写は開架資料の閲覧・複写を除く。

## (3) 普及活動(平成25年度)

## ア 歴史的公文書展示

月	展示内容	来場者数	月	展示内容	来場者数
6月	歴史的公文書とは?	466人	9月	公文書で見る福岡市の水害	522人

## イ 郷土・特別資料室内展示

月	展示内容	月	展示内容
4月	近世の街道を訪ねる	10月	もっと福岡を知りたい
5月		11月	
6月	石炭・製鉄～福岡の近代化産業	12月	官兵衛を深く知ろう!
7月		1月	
8月		2月	
9月	もっと福岡を知りたい	3月	鉄道ものがたり

ウ 古文書学講座

内容：古文書に初めて接する市民を対象に、古文書学の基礎を学ぶ講座を開催。

期 日	時 間	内 容	講 師（敬称略）	参加人数
9月7日(土)	14:00～16:00	古代	古都大宰府保存協会 重松 敏彦	延152
9月14日(土)	14:00～16:00	中世	山口県立大学准教授 伊藤 幸司	
9月21日(土)	14:00～16:00	近世	九州大学准教授 岩崎 義則	
9月28日(土)	14:00～16:00	近代	北九州市立自然史・歴史博物館 日比野利信	

エ 文学館事業

(ア) 企画展示

タ イ ト ル	期間及び会場	内 容	入場者数
「さとはふくおか —作家たちに愛された 黒田官兵衛」	【第1会場】 総合図書館1階ギャラリー 平成25年11月20日(水) ～12月23日(月・祝) 【第2会場】 赤煉瓦文化館1階展示室 平成25年11月20日(水) ～平成26年2月2日(日)	戦国時代に名軍師として知られた「黒田官兵衛」は福岡とゆかりが深く、その生涯は多くの作家たちが取り上げ文学作品となっている。その作品の中から九州ゆかりの作家たちを中心に紹介する。	5,353

(イ) 講座

タ イ ト ル	期日及び会場	内 容（敬称略）	参加人数
企画展関連講座 「今なぜ黒田官兵衛なのか —豊臣秀吉を補佐した 名軍師と福岡」	平成25年11月30日(土) 会場：福岡市総合図書館 3階第1会議室	【講師】 石瀧豊美 (インタキ人権学研究所所長 ・福岡地方史研究会会長)	76
市民公開講座 トークイベント 「魔法のコトバ ・魔法のデザイン」	平成25年5月25日(土) 会場：福岡市総合図書館 3階第1会議室	【講師】 角野英子(児童文学作家) 目黒 実(九州大学大学院特任教授)	100
ワークショップ 「魔法使いに なったなら・・・」	会場：福岡市総合図書館 3階第2会議室	【講師】 ワークショップユニット nina nino	40
読書講座 「九州ゆかりの文学 を読む」	平成25年11月24日(日) 12月8日(日) 12月22日(日) 平成26年1月11日(土) 1月18日(土) 会場：赤煉瓦文化館2階 会議室3	【講師】 ・中野和典(福岡大学教員) ・松本常彦(九州大学大学院教員) ・井上洋子(福岡県人権啓発情報センター ・元福岡国際大学教員) ・松下博文(筑紫女学園大学教員) ・内田友子(福岡女子短期大学教員)	121
赤煉瓦夜話 *偶数月第3木曜日 18時30分から開催	平成25年4月18日(木) 6月20日(木) 8月15日(木) 10月17日(木) 平成26年2月20日(木) 会場：赤煉瓦文化館1階 展示室	様々な講師による文学にかかわる講座・講演会 【講師】 ・内川秀治(フリーライター) ・井手修身(NPO法人イデア九州 ・アジア理事長) ・甲斐大策(画家) ・母里聖徳(彫刻家・料亭あをぎり館長) ・塚崎謙太郎(西日本新聞文化部記者)	211

(ウ)福岡市文学館機関誌「文学館倶楽部」(NO.17、NO.18)の発行(10月、3月)

(エ)福岡市文学館選書1「黒田如水」(福本日南 著)発行(11月)

## (4) 収集資料（平成25年度）※『平成25年度古文書資料目録19』掲載分

## ア 寄贈資料

資料名	寄贈者	点数	内 容 等
金山尚志資料	福田奈々子	69	本資料群は、筑前国那珂郡住吉村で生まれ、貴族院書記官や統監府書記官を歴任した金山尚志に関係する資料である。本資料群には、明治30年から38年まで記録された日誌類や菅公一千年祭開催のために明治三二年八月に結成された菅公会関係の記録の他、人相や手相等から人の性質や運命を判断する相学（相法）関係の写本類などが伝存している。
田沼美紀子資料	田沼美紀子	3	夢野久作『近世快人伝』に遠山満・奈良原至・杉山茂丸とともに取り上げられた、博多・大浜の魚屋湊屋の主人篠崎仁三郎と、その妻ユキの肖像画（対幅）と、仁三郎の後妻ナルの肖像写真が入れられていた額の裏板。いずれも仁三郎の曾孫にあたる寄贈者が保管していたもので、関係資料が少ない篠崎仁三郎に関する貴重な資料である。

## イ 購入資料

資料名	点数	内 容 等
大分県玖珠郡八幡村 飯田家文書	108	大分県中西部の小盆地、玖珠川沿いに開けた綾垣村（明治22年以降八幡村）に居住した飯田弥右衛門・広吉が作成、伝来した資料108点である。用水利用について取り決めた近世文書を含むものの、資料の大半は明治・大正期のものである。地域の顔役として、綾垣区域の共有財産の管理に当たったり、地押調査事業（明治18～22年）の際には、地主総代として丈量・勘定の作業に当たっていたことがわかる。
博多下祇園町資料	64	明治初期～昭和30年代までの下祇園町（現、福岡市博多区）に関する資料群。下祇園町町政に関する、規約・共有儲金・町費等に関する資料や、榎田神社の式年遷宮関係資料から構成され、なかには式年遷宮の際、奏楽奉納を行った清音社・高武卯之助氏の所有していた資料も含まれる。

## ウ マイクロフィルム収集資料

資料名	点数	内 容 等
東長寺文書（一）	1,989	『福岡市文化財調査目録5 東長寺収蔵品目録』（1993年）に収録された「古文書」3,617件のうち、資料番号1～1669にあたる1,669件1,989点。主に江戸時代の資料である。 聖教類は、教相、事相、声明等に関するもので構成され、東長寺に伝えられた教学及びその法流を示す。文書類は、人事・会計など寺内組織に関するもの、東長寺と本山仁和寺、東長寺末寺院等との関係を示すもの、東長寺大檀越であった福岡藩二代藩主黒田忠之や同寺を菩提所とした三代藩主光之、八代藩主治高等の葬儀・法会等に関するもの、東長寺が座主支配した榎田神社に関するものなどで構成される。
西村光博資料	3	「書状」「系図」「命日書上帳」の三点から成る。書状は江戸時代前期に活躍した伊藤小左衛門が西村九右衛門に宛てたもの。西村氏は小左衛門と共に出雲鉄の取引に関与していた。所有者・西村光博氏の先祖は、松浦党の一族であり、のちに博多商人となった鶴田氏にさかのぼることができる。

### 3. 映像資料部門

#### 映像資料部門の概要

##### (1) 基本方針

- 映像資料部門は、映画フィルム等を後世に継承し、また、映像文化の普及・振興及び市民のアジア理解が深まることを目的に、以下のことを行う。
- ア アジア各国及び日本で制作された優れた映画作品のフィルムを収集するとともに、貴重な映像文化財として長期保存すべくフィルムアーカイヴを運営する。
  - イ 収集したフィルムその他の映像資料は、映像ホール・シネラやミニシアター等で上映・公開し、市民の映画への関心を向上させるとともに、アジア各国の歴史、文化などの理解を深め、また教養や知識を高めることを期す。
  - ウ 映像作品を制作し、又はアジア映画の自主上映等を行う市民・団体に対して、映像ホール・シネラの利用などの支援を行う。
  - エ アジア映画に関する情報収集、調査研究を行い、このため、国内外の映画関係者との交流を行う。
  - オ 収集した映像資料の中のビデオ、DVD、CD等は、市民に貸出を行う。

##### ※F I A F（国際フィルムアーカイヴ連盟）への加盟

平成15年11月にF I A Fに加盟。東京国立近代美術館フィルムセンターに次いで日本では2番目。

F I A Fは美術文化・歴史的価値を持つ映像資料の復元、収集保存に関する情報提供とフィルムアーカイヴ間の連帯・支援を行う国際組織

[設立] 1938年 [本部] ブリュッセル（ベルギー）  
[会員] 74カ国・151施設（2014年1月FIAF名簿）

##### (2) 事業概要

- ア 映像資料の収集・保存
- イ 映像資料の調査・研究
- ウ 映像資料の公開
  - ・映像ホール・シネラ(246席)の運営
  - ・ミニシアター(50席)の運営
  - ・映像資料の展示

##### (3) 26年度の主な事業

事業名	内 容	実施時期
映像資料収集事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アジアフォーカス・福岡国際映画祭参加作品</li> <li>・福岡に関係がある映画作品等</li> <li>・ビデオ・DVD・CD</li> </ul>	通 年
通常上映事業	映像資料部門の常設展的上映活動と位置づけ、収集したアジア映画、日本映画やドキュメンタリー映画等を定期的に上映する。 上映に際しては各々テーマを設定し、多様な映画芸術の魅力を紹介する。	通 年

事業名	分類	企画名	内 容	実施時期
特別企画事業	アジア映画紹介事業	インド映画パラダイス	近年話題となったインド娯楽映画の特集	6月
	映像創造事業	ぴあフィルムフェスティバルin福岡	日本最大の自主映画のコンペティション「ぴあフィルムフェスティバル」の入選作を上映。	4月

事業名	分類	企画名	内容	実施時期
特別企画画事業	映像創造事業	イメージフォーラム・フェスティバル 2014	日本最大の実験映画のコンペティションであるイメージフォーラム・フェスティバル。九州では、総合図書館が唯一の開催場所であり、今回で19回目の開催。	6月
	シネマテーク事業	市川雷蔵特集	日本映画で最も人気を博した俳優の一人、市川雷蔵の足跡を代表的作品で回顧。	5月
		中村錦之助特集	時代劇の大スターとして活躍した中村錦之助の主演作の特集。	7月
		林芙美子原作映画特集	林芙美子原作の映画化作品の特集。	11月
		ソヴィエト映画	戦前からの長い歴史を持ち数々の名作を生み出したソヴィエト映画の60～70年代を中心に代表的作品を上映。	2月

### 映像資料部門の活動及び実績

(1) 資料の収集状況（平成26年3月31日現在）

ア 映画フィルム 983本

〔アジア映画 512本、日本映画 167本、ドキュメンタリー映画 74本、アニメーション 82本、実験映画等 148本〕

イ ビデオ/DVD 約6,300点

ウ CD/カセット 約12,000点

【平成25年度収集作品（映像フィルム）】

作品名	監督	国籍(会社)	製作年	フィルム	時間
アジアフォーカス・福岡国際映画祭2013参加作品					
スター誕生	ミシェル・チョン	シンガポール	2011	ビデオ カラー	113分
シンガポール・グラフィティ	ツイ・ユイウエイ	シンガポール	2013	ビデオ カラー	115分
沈黙の夜	レイス・チェリッキ	トルコ	2012	35ミリ カラー	91分
ゲーマー	オレグ・センツォフ	ウクライナ	2011	ビデオ カラー	92分
夢にかける女	コンラッド・クラーク	中国＝英	2012	ビデオ カラー	104分
ティモール島アタンブア39℃	リリ・リザ	インドネシア	2012	ビデオ カラー	90分
果てしなき鎖	ローレンス・ファハルド	フィリピン	2012	ビデオ カラー	92分
その他の作品					
炭鉱に生きる	萩原吉弘	日本	2004	35ミリ カラー	70分



## (2) 映画上映事業（平成25年度）

## ア 通常上映事業

月	内 容
6月	映画の中の黒田藩
8月	中央アジアの映画 ・ ショエーブ・マンスール監督特集
10月	ベトナム映画特集 ・ インド映画特集
1月	日本映画名作選
2月	台湾映画特集
3月	懐かしの洋画特集

## イ 特別企画事業

分 類	行 事 名	期 間	内 容
アジア映画祭事業	ドキュメンタリー・セレクション	12月4日（水） ～23日（月祝）	近年注目を浴びたドキュメンタリー映画の秀作を、アジアの作品を中心にセレクト。上映作品10本。
映像創造事業	ぴあフィルムフェスティバルin 福岡	4月27日（土） ～29日（月祝）	第34回ぴあフィルムフェスティバルに入選した作品等の上映。
	イメージフォーラム・フェスティバル 2013	6月5日（水） ～9日（日）	日本最大の実験映画コンペティション入選作品等16プログラムを上映。
シネマ事業	フレデリック・ワイズマン レトロスペクティブ 第二部	4月3日（水） ～23日（火）	現代アメリカを代表するドキュメンタリー映画の巨匠、フレデリック・ワイズマン監督の特集第二部。上映作品12本。
	木下恵介監督特集	5月2日（木） ～26日（日）	木下恵介監督生誕100年記念上映。上映作品14本。松竹との共催。
	木村栄文 レトロスペクティブ	6月12日（水） ～28日（金）	日本を代表するテレビドキュメンタリーの作家として活躍し、2011年に亡くなった、RKBの木村栄文の代表作を上映。RKBとの共催により、10プログラムを上映。
	日活映画の100年 第一部 日活映画の100年 第二部	7月3日（水） ～28日（日） 9月4日（水） ～29日（日）	創立100周年を迎えた日活の代表作品 29本を日活との共同主催で上映。第二部はアジアフォーカス・福岡国際映画祭協賛企画。
	アニメーション映画特集	8月1日（木） ～4日（日）	大人と子供が共に楽しめる高い完成度と娯楽性を併せ持つアニメーション映画の秀作を3本上映。
	新藤兼人監督特集	11月1日（金） ～24日（日）	昨年亡くなった日本映画の巨匠・新藤兼人監督の追悼企画。上映作品12本。
	福岡市の歩み	11月30日（土） ～12月1日（日）	福岡市人口150万人突破記念。福岡市の歴史と文化についてテレビ局等が製作した映像を上映。

ウ 講演会

行 事 名	期 間	内 容
特別講演 福岡ユネスコ協会文化講演会	6月1日(土)	香港映画の研究者 野崎欽氏が「香港映画は二度死ぬ～中国返還以降の挑戦」を講演。
特別講演 木村栄文レトロスペクティブ講演会	6月16日(日)	ノンフィクション作家 吉岡忍氏が、「人はまじめで、おかしい」を講演。
特別講演 新藤兼人監督特集講演会	11月10日(日)	新藤兼人の次男 近代映画協会代表取締役の新藤次郎氏が「新藤兼人と独立プロダクション」を講演。

(3) 資料の利用状況(平成25年度)

区 分	映像ホール・シネラ		ミニシアター		CD等貸出		ビデオ等貸出	
	入館者	1回平均	入館者	1回平均	貸出数	1日平均	貸出数	1日平均
	人	人	人	人	点	点	点	点
4月	1,181	34	647	26	5,506	220	1,817	73
5月	3,999	95	664	26	5,696	219	1,787	69
6月	2,934	56	505	19	5,081	195	1,817	70
7月	3,227	67	730	30	4,471	186	1,503	63
8月	1,483	46	750	28	4,926	182	1,760	65
9月	3,059	75	695	29	4,561	190	1,564	65
10月	1,252	31	514	21	4,673	187	1,492	60
11月	2,807	74	504	19	4,650	179	1,538	59
12月	1,280	41	435	20	4,252	193	1,300	59
1月	2,475	88	591	27	1,884	86	1,372	62
2月	903	41	468	20	4,539	197	1,299	56
3月	1,508	94	439	24	3,781	210	1,114	62
計[平均]	26,108	[61]	6,942	[24]	54,020	[188]	18,363	[64]

※映像ホール・シネラの入場者には、貸館による自主上映の入場者(649人/8回)を含む。

#### 4. 広報活動

総合図書館を広く市民に利用してもらうため、各種媒体による広報を行う。

媒体名	目的と内容	発行回	配布先／発行数
市政だより	図書館事業の市民への告知を目的とし、シネラ上映案内、おはなし会・講演会などを掲載している。	月2回	福岡市内全世帯
総合図書館 ホームページ	情報提供を目的とし、利用案内、各種お知らせ、映像資料案内、図書館資料検索などの項目を設けている。	随時	
ホームページ 「うえぶシネラ」	映像ホール・シネラのPRを目的とし、シネラの上映予定、作品内容を掲載している。 また、メールマガジンも配信している。	月1回 更新	
シネラNEWS	映像ホール・シネラのPRを目的とし、シネラの上映予定、作品内容を掲載している。	年11回	福岡市の施設・機関、マスコミ、定期購読者等／8000部
こどもとしゃかん ニュース	こども図書館の利用拡大、読書普及を目的とし、おはなし会やテーマ別本展示のお知らせ、新刊本紹介を掲載している。	年6回	福岡市の関係施設・機関、市内の保育所、幼稚園、小中学校等／2500部
こどもとしゃかんの ほんだな	小学生を対象として、読書普及及び図書館の利用拡大を目的とし、小学生向けのお薦めの本のリスト等を掲載している。	年4回	福岡市内の小中学校等／1050部
ヤングアダルト ブックリスト	中学生・高校生を対象として、読書普及及び図書館の利用拡大を目的とし、お薦めの本を紹介している。	随時	福岡市内の中学校 高等学校等／6000部
レファレンスだより	レファレンスサービスをアピールすることを目的とし、相談カウンターに寄せられたレファレンスの中から、事例の一部を紹介している。 また、夏休みは小中高生を対象にした特集号を別途発行している。	年12回	福岡市の関係施設・機関、関連図書館等／280部
図書の展示	テーマに基づき各コーナーで図書の展示を行うとともに、ホームページに掲載し、図書の紹介を実施している。	毎月	
クンドルニュース	九州国連寄託図書館の活動案内、国連資料の利用拡大を目的とし、国連資料などを紹介している。	年6回	福岡市の施設・機関、福岡県内公共図書館等／750部
図書館要覧	他図書館、行政機関への当館の運営報告を目的とし、図書館各部門の現状・サービス、事業実績、組織・予算、分館の状況などを掲載している。	年1回	福岡市の関係施設・機関、関連図書館等／350部

#### 5. 研究活動

図書館各部門において調査研究を行い、その成果を報告するため、研究紀要を発行する。

媒体名	目的と内容	発行回	配布先／発行数
研究紀要	収蔵資料に関する学術的な調査研究等の成果を報告することを目的に、図書館職員による研究論文、資料紹介、展示報告等を掲載している。	年1回	各県の主な公共図書館、文書館、歴史資料館、文学館等／500部



## 6. 九州国連寄託図書館

### (1) 国連寄託図書館

国連寄託図書館は、国際連合（国連）がその活動状況について世界各国の人々の理解を得るため、国連の刊行する資料を寄託し、一般公開するものである。

国連寄託図書館は、平成26年4月1日現在、世界の136か国に365か所余あり、日本には14か所、九州では西南学院大学、琉球大学及び福岡市総合図書館の3か所に設置されている。

### (2) 九州国連寄託図書館 (Kyushu United Nations Depository Library)

#### ア 沿革

昭和41年国連創立20周年記念事業として日本国際連合協会福岡県本部により、北九州市小倉図書館（当時）に開設され、その後、福岡市内の電気の科学館（昭和47～昭和56年）、九州大学経済学部資料室（昭和56年～昭和63年）を経て、国際化時代に即し、ひろく一般の人々の利用に供するため、昭和63年10月から福岡市民図書館に継承され、平成8年6月の福岡市総合図書館開館により引き続き設置している。

平成25年10月に福岡市移管25周年記念事業として、ワークショップ及び講演会を開催した。

### イ 資料概要（平成26年4月1日現在）

#### (ア) 内容

- ・ 主要機関の公式記録 Official Records
  - 総 会 General Assembly
  - 経済社会理事会 Economic and Social Council
  - 安全保障理事会 Security Council
  - 信託統治理事会 Trusteeship Council
- ・ 国連市販刊行物 Sales Publications
- ・ 国連条約集 UN Treaty Series
- ・ 逐次刊行物 (雑誌、ニュースレター等)
- ・ ドキュメント (会議などで資料として配布するもの、議事録、報告書)
- ・ 専門機関刊行物 (ユネスコ、WHO、ILO、FAO等)
- ・ 関連諸機関刊行物 (ユニセフ、ハビタット、国連難民高等弁務官事務所等)

(イ) 蔵書数 図書 35,979冊 逐次刊行物（ドキュメントを含む）423種

(ウ) 資料言語 英語

(エ) 分類法 国連刊行物分類表 Subject Categories

### ウ 相談窓口利用状況（平成25年度）（単位：件）

電話相談	窓口相談	文書相談	計
105	717	0	822

### エ 刊行物（平成25年度）

- ・ KUNDL NEWS 第74号（平成25年5月）～第80号（平成26年3月）の発行

毎号、国連が発行している本を注目の1冊として紹介。平成25年度に取り上げたテーマは、麻薬、青少年、アカデミック・インパクト、農業、都市など。また、国際年や国連で採択された国際的な特別日（国際デー）を紹介するなど国連活動を身近なものと感じられるよう編集、発行した。

## 7. 福岡市立点字図書館

点字図書・録音図書資料等を収集・製作・保存して、その読書に関する環境の充実を図り、視覚障がい者が一般市民や家族と同じ図書館内で読書ができる環境の整備を進め、情報提供施設として福祉の向上に努めることを目的としている。

### (1) 業務内容

#### 1. 貸し出し事業

点字図書、録音図書、デージー(※1)図書(CD)、また新聞や雑誌の抜粋等を内容とした定期刊行物等を製作、整備し、利用者に郵送等にて貸し出しする。

#### 2. 1階閲覧室

点字図書、録音図書資料等の閲覧や視覚障がい者用のパソコンによる閲覧、読書機による一般図書資料の閲覧を提供する。

#### 3. サービス事業

##### ○対面朗読

総合図書館内、または持ち込みの図書・雑誌・資料等の対面朗読を行う。

##### ○ファックス代読

簡易な文書類等をファックスで送ってもらい、電話により代読する。

##### ○プライベートサービス

個人の希望により、図書・雑誌等の点訳または音声訳を行う。

##### ○肢体不自由者読書サービス

一般の図書が利用できない体幹機能障がいまたは重度の上肢障がい者に対して、著作権者の承諾を得た録音図書の貸出を行う。

##### ○ネットワークアクセス支援

サピエ(※2)図書館へのアクセス方法等を中心としたインターネットの基本操作個別指導

##### ○レファレンス(読書の奨励や読書相談)

図書に関する色々な問い合わせ等について、できるだけ調査し、お応えする。

#### 4. 専属ボランティアの指導、育成

点字図書・録音図書・デージー(※1)図書(CD)製作、対面朗読のため講習会を開催し、専属ボランティアを養成する。

#### 5. 点字図書館だより

新規蔵書図書の紹介や生活情報・図書情報等をお知らせするため、年6回(奇数月)の「点字図書館だより」を発行する。

※1 デージーとは、DAISY (Digital Accessible Information SYstemの略) デジタル録音図書の国際標準規格

※2 サピエとは、視覚障害者を始め、目で文字を読むことが困難な方々に対して、さまざまな情報を点字、音声データで提供するネットワーク  
日本点字図書館がシステムを管理し、全国視覚障害者情報提供施設協会が運営を行っている

### (2) 運営組織(社会福祉法人福岡市身体障害者福祉協会)

#### 職員構成

館長	1名
司書	2名
点訳指導員	1名
校正員	1名
貸出閲覧員	1名

### (3) 運営状況(25年度 利用実績)

#### ア 蔵書数

区分	タイトル数	冊巻数
点字図書	6,544	20,941
録音図書	6,291	35,141
CD図書	5,205	5,238
合計	18,040	61,320

#### イ 貸出数

区分	タイトル数	冊巻数
点字図書	292	1,075
録音図書	1,989	8,276
CD図書	18,564	17,087
合計	20,845	26,438

#### ウ 登録者数

区分	総数
男	522人
女	401人
合計	923人

#### エ 館内利用者数

閲覧室利用者数	553人
対面朗読利用者数	166人

#### オ その他主サービス実施状況

派遣対面朗読利用者数	98人
プライベートサービス	62人

## 8. 福岡市総合図書館運営審議会

設置目的	総合図書館の運営に関し、館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる。			
設置年月日	平成8年4月1日			
根拠法令等	福岡市総合図書館条例 第18条第1項			
任期	2年：平成24年7月9日～平成26年7月8日			
構成員・名簿	〈学校教育関係者〉	井上 秀明	川俣 博嗣	渡邊 由紀子
	〈社会教育関係者〉	吉川 優子 甲斐 景子	平田 哲子	山本 幸雄
	〈読書活動団体関係者〉	八尋 理恵	野田 真由美	大野 まり子
	〈学識経験者〉	高橋 昇 藤野 力	坂川 和彦	田坂 大藏
	〈本市の住民〉	田中 久美	小林 晶子	宮本 謙吾

### 平成25年度の活動実績

- ・ 福岡市総合図書館運営審議会：7回開催
- ・ 平成25年 5月17日：第1回運営審議会  
「これからの福岡市総合図書館のあり方について」諮問を受ける。
- ・ 平成25年 7月10日：第2回運営審議会
- ・ 平成25年 8月 7日：第3回運営審議会  
「熊本市立図書館」及び「くまもと森都心プラザ図書館」視察
- ・ 平成25年 8月21日：第4回運営審議会
- ・ 平成25年 9月13日：第5回運営審議会
- ・ 平成25年11月 3日：第6回運営審議会
- ・ 平成25年11月15日：「これからの福岡市図書館のあり方について」答申を行う。
- ・ 平成26年 3月19日：第7回運営審議会  
答申に基づき「福岡市総合図書館新ビジョン（素案）」の策定を行うにあたり、最終審議。

設置目的	総合図書館の運営に関し、館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる。			
設置年月日	平成8年4月1日			
根拠法令等	福岡市総合図書館条例 第18条第1項			
任期	2年：平成26年7月9日～平成28年7月8日			
構成員・名簿	〈学校教育関係者〉	赤木 智幸	西依 節雄	渡邊 由紀子
	〈社会教育関係者〉	平田 哲子	山本 幸雄	甲斐 景子
	〈家庭教育関係者〉	坂田 美和子		
	〈読書活動団体関係者〉	八尋 理恵	野田 真由美	
	〈学識経験者〉	高橋 昇 黒岩 俊哉	白根 恵子	脇川 郁也
〈本市の住民〉	岩井 千華	島津 摩季子		

## V. 条例, 関係規則等

### 1. 福岡市総合図書館条例 (平成8年3月28日条例第30号)

(設置)

**第1条** 市民の教育, 学術及び文化の発展に寄与するため, 福岡市総合図書館(以下「総合図書館」という。)を福岡市早良区百道浜三丁目に設置する。

2 総合図書館に分館を別表第1のとおり置く。

(事業)

**第2条** 総合図書館は, 次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) 図書館法(昭和25年法律第118号)の規定に基づく図書館として, 図書, 記録, 逐次刊行物その他必要な資料(以下「図書資料」という。)を収集し, 整理し, 及び保存して, 市民の利用に供すること。
- (2) 映画フィルム, ビデオテープ, コンパクトディスクその他必要な資料(以下「映像資料」という。)を収集し, 整理し, 及び保存して市民の利用に供すること。
- (3) 本市に関する歴史的文化的価値を有する公文書, 古文書その他必要な資料(以下「文書資料」という。)を収集し, 整理し, 及び保存して, 市民の利用に供すること。
- (4) 図書資料, 映像資料及び文書資料(以下「図書資料等」という。)の利用のための相談に応じること。
- (5) 図書資料等に関する調査及び研究を行うこと。
- (6) 図書資料等に関する講演会, 講習会, 研究会, 映写会等を開催し, 及びその奨励を行うこと。
- (7) 施設の利用に関すること。
- (8) 前各号に掲げるもののほか, 総合図書館の設置の目的の達成に必要なこと。

(職員)

**第3条** 総合図書館に館長その他必要な職員を置く。

(観覧料)

**第4条** 総合図書館が主催して映像ホールで映像資料を上映する場合は, 観覧する者から, 別表第2に定める額の観覧料を徴収する。

(利用の許可)

**第5条** 図書資料等に関する講演会, 講習会, 研究会, 映写会等のため総合図書館の施設(映像ホール及び会議室に限る。)を利用しようとする者は, 教育委員会規則で定めるところにより, 教育委員会の許可を受けなければならない。許可を受けた者が利用を受けた事項を変更しようとするときも, また同様とする。

2 映像ホールに係る前項の許可は, 総合図書館が主催して映像ホールで行う事業に支障がない範囲で行うものとする。

(利用の制限)

**第6条** 教育委員会は, 次の各号のいずれかに該当する場合は, 総合図書館の利用を拒み, 又は前条の許可をせず, 若しくは既にした許可を取り消すことができる。

- (1) 利用者(利用しようとする者を含む。以下本条において同じ。)が総合図書館の設置の目的に反する利用をし, 又はそのおそれがあるとき。
  - (2) 利用者がこの条例又はこの条例に基づく教育委員会規則の規定に違反し, 又はそのおそれがあるとき。
  - (3) 前2号に掲げるもののほか, 総合図書館の管理上支障があると認められるとき。
- 2 前項の措置によって利用者が損害を受けても, 本市はその責めを負わない。

(入館の制限)

**第7条** 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、入館を拒み、又は退館を命じることができる。

- (1) 他の利用者に迷惑をかけ、若しくは総合図書館の施設、付属設備若しくは図書資料等を損傷し、又はそのおそれがあると認められる者
- (2) 総合図書館の管理上の指示又は指導に従わない者
- (3) 前2号に掲げるもののほか、総合図書館の管理上支障があると認められる者

(利用する権利の譲渡等の禁止)

**第8条** 第5条の許可を受けた者（以下「許可利用者」という。）は、総合図書館の施設を利用する権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

(特別な設備)

**第9条** 許可利用者は、総合図書館に特別な設備をし、又は変更を加えてはならない。ただし、教育委員会が特に認めたときは、この限りでない。

- 2 教育委員会は、総合図書館の管理上必要があると認めるときは、許可利用者の負担において総合図書館に特別な設備を設置するよう命じることができる。
- 3 前2項に規定する設備は、第5条の許可の期間の満了前に許可利用者の負担において撤去し、原状に復さなければならない。
- 4 許可利用者が前項に規定する撤去を行わないときは、教育委員会がこれを行い、その費用を当該許可利用者から徴収する。

(使用料)

**第10条** 許可利用者からは、別表第3に定める額の使用料を徴収する。

(複写手数料)

**第11条** 総合図書館の図書資料等を複写する者からは、複写紙1枚につき300円の範囲内で教育委員会規則で定める額の手数料を徴収する。

(撮影等の許可及び手数料)

**第12条** 学術研究等のため、総合図書館の図書資料等の撮影、模写又は模造をしようとする者は、教育委員会規則で定めるところにより、教育委員会の許可を受けなければならない。

- 2 前項の許可を受けた者からは、1点1回につき2,200円の範囲内で教育委員会規則で定める額の手数料を徴収する。

(観覧料等の前納等)

**第13条** 観覧料、使用料及び手数料（以下「観覧料等」という。）は、前納とする。

- 2 既納の観覧料等は還付しない。ただし、教育委員会が特別な理由があると認める場合は、その全部又は一部を還付することができる。

(観覧料等の減免)

**第14条** 教育委員会が特別な理由があると認める場合は、観覧料等を減免することができる。

(利用者の管理義務)

**第15条** 利用者は、利用期間中その利用に係る総合図書館の施設、付属設備及び図書資料等を善良な管理者の注意をもって管理しなければならない。

(損害賠償)

**第16条** 利用者がその責めに帰すべき事由により、総合図書館の施設、付属設備又は図書資料等を破損し、滅失し、又は汚損して本市に損害を与えたときは、これを原状に復し、又はその損害を賠償しなければならない。



(職員の立入り)

**第17条** 許利用者は、総合図書館の職員が職務のため当該利用に係る施設に立ち入ろうとするときは、これを拒むことができない。

(総合図書館運営審議会)

**第18条** 総合図書館の運営に関する事項を調査審議するため、福岡市総合図書館運営審議会（以下「審議会」という。）を置く。

- 2 審議会は、総合図書館の運営に関し館長の諮問に応じるとともに、館長に対して意見を述べるものとする。
- 3 審議会の委員の定数は、20人以内とする。
- 4 審議会の委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 5 審議会の組織及び運営に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

(委任)

**第19条** この条例に定めるもののほか、総合図書館の管理に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

## 附 則 (抄)

(施行期日)

- 1 この条例は、平成8年4月1日から施行する。

(供用開始日)

- 2 この条例の施行にかかわらず、総合図書館（分館を除く。）の供用は、教育委員会規則で定める日から開始する。（平成8年教育委員会規則第10号により平成8年6月29日から供用開始）

(福岡市市民図書館条例の廃止)

- 3 福岡市市民図書館条例（昭和51年福岡市条例第43号）は、廃止する。

**附 則**（平成11年3月11日条例第35号）

この条例は、教育委員会規則で定める日から施行する。

（平成11年教育委員会規則第5号により別表第1福岡市博多図書館の項の次に福岡市博多南図書館の項を加える改正規定は、平成12年1月30日から施行）

**附 則**（平成15年3月13日条例第30号）

この条例は、教育委員会規則で定める日から施行する。ただし、別表第1福岡市西図書館の項の改正規定は、公布の日から施行する。

（平成15年教育委員会規則第11号により平成15年8月9日から施行）

**附 則**（平成19年12月20日条例第62号）

この条例は、平成20年4月1日から施行する。

**附 則**（平成21年3月26日条例第43号）

- 1 この条例は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 この条例の施行にかかわらず、福岡市西部図書館の供用は、教育委員会規則で定める日から開始する。

**附 則**（平成26年3月27日条例第51号）

この条例は、公布の日から施行する。

別表第1

名 称	位 置
福岡市東図書館	福岡市東区香住ヶ丘一丁目
福岡市和白図書館	福岡市東区和白丘一丁目
福岡市博多図書館	福岡市博多区山王一丁目
福岡市博多南図書館	福岡市博多区南本町二丁目
福岡市中央図書館	福岡市中央区赤坂二丁目
福岡市南図書館	福岡市南区塩原二丁目
福岡市城南図書館	福岡市城南区片江五丁目
福岡市早良図書館	福岡市早良区百道二丁目
福岡市西図書館	福岡市西区内浜一丁目
福岡市西部図書館	福岡市西区西都二丁目

別表第2

## 映像ホール上映観覧料

区 分		金 額	
		個 人	20人以上の団体
通常上映観覧	一 般	500円	1人につき400円
	大学生・高校生	400円	1人につき320円
	中学生・小学生	300円	1人につき240円
特 別 上 映 観 覧		1人につき2,000円以内で教育委員会が定める額	

## 備考

- 通常上映観覧とは、総合図書館が平常的に上映する映像資料の観覧をいい、特別上映観覧とは、総合図書館が特別に上映する映像資料の観覧をいう。
- 一般とは、大学生・高校生及び中学生・小学生以外の者で15歳以上のものをいい、大学生・高校生とは、大学、高等専門学校、高等学校、専修学校、各種学校又はこれらに準じるものに在学する者をいう。

別表第3

## 1 映像ホール使用料

区 分	午前10時から 正午まで	午後1時から 午後5時まで	午後6時から 午後10時まで	午前10時から 午後5時まで	午後1時から 午後10時まで	午前10時から 午後10時まで
映 像 ホ ー ル	3,000円	18,000円	22,000円	21,000円	40,000円	43,000円

## 2 会議室使用料

区 分	午前10時から 正 午 まで	午後 1 時から 午後 4 時まで	午後 4 時から 午後 7 時まで	午前10時から 午後 4 時まで	午後 1 時から 午後 7 時まで	午前10時から 午後 7 時まで
第1会議室	2,350 円	5,100 円	5,100 円	7,200 円	9,150 円	10,900 円
第2会議室	1,250	2,700	2,700	3,800	4,850	5,750

### 備考

- 1 映像ホールの許可利用者が入場者から入場料を徴収する場合の使用料の額は、この表の金額の2倍に相当する額とする。
- 2 利用の許可を受けた時間を超えて利用する場合の使用料の額は、教育委員会規則で定める。
- 3 付属設備の使用料の額は、教育委員会規則で定める。

## 2. 福岡市総合図書館条例施行規則（平成8年3月28日教育委員会規則第5号）

（趣旨）

**第1条** この規則は、福岡市総合図書館条例（平成8年福岡市条例第30号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

（組織）

**第2条** 福岡市総合図書館（以下「総合図書館」という。）の事務を行うため、総合図書館に分館のほか、次の課及び係を置く。

運営課

運営係

企画係

図書サービス課

図書係

読書普及係

相談係

文学・文書課

文学係

資料係

古文書係

映像資料課

映像資料係

2 分館の所属は、図書サービス課とする。

（分掌事務）

**第3条** 課の分掌事務は、次のとおりとする。

運営課

- (1) 総合図書館内の連絡調整に関する事。
- (2) 総合図書館の維持管理に関する事。
- (3) 総合図書館の利用その他便宜供与に関する事。
- (4) 他の課及び分館の主管に属しない事。

図書サービス課（分館を除く。）

- (1) 図書、記録、逐次刊行物その他必要な資料（以下「図書資料」という。）の選定、受入、整理、保存及び利用に関する事。
- (2) 図書資料の調査及び相談に関する事。
- (3) 図書資料に関する講演会、講習会、研究会等の開催及び奨励に関する事。
- (4) 九州国連寄託図書館の運営に関する事。
- (5) 他の図書館等との連絡、協力及び図書資料の相互貸借に関する事。
- (6) 読書普及事業に関する事。

文学・文書課

- (1) 郷土の文学等に関する資料（以下「文学資料」という。）の選定、受入、整理、保存及び利用に関する事。
- (2) 本市に関する歴史的文化的価値を有する公文書、古文書その他必要な資料（以下「文書資料」という。）の収集、整理、保存及び利用に関する事。
- (3) 文学資料及び文書資料の調査研究及び相談に関する事。
- (4) 文学資料及び文書資料に関する講演会、講習会、研究会等の開催及び奨励に関する事。

映像資料課

- (1) 映画フィルム、ビデオテープ、コンパクトディスクその他必要な資料（以下「映像資料」という。）の収集、整理及び保存に関する事。
- (2) 映像ホール、ミニシアター及びビデオライブラリーの運営に関する事。
- (3) 映像資料の調査研究に関する事。
- (4) 映像資料に関する講演会、講習会、研究会等の開催及び奨励に関する事。

- 2 分館の所掌事務は、次のとおりとする。
  - (1) 図書資料の選定及び利用に関すること。
  - (2) 市民センターとの連絡調整に関すること。
  - (3) 読書普及事業に関すること。

(職員)

**第4条** 総合図書館に館長、副館長及び管理部長を、課に課長を、係に係長を、分館に分館長を置く。

- 2 前項の職員のほか、特に必要なときは、課に主査又は主任学芸主事を置くことがある。
- 3 前2項の職員のほか、課及び分館に職員を置く。
- 4 館長、副館長、管理部長、課長、係長、分館長、主査及び主任学芸主事は、職員のうちから命じる。
- 5 館長は、上司の命を受けて総合図書館の事務を統理し、所属職員を指揮監督する。
- 6 副館長は、上司の命を受けて総合図書館の事務について館長を補佐し、所属職員を指揮監督する。
- 7 管理部長は、上司の命を受けて総合図書館の事務を掌理し、所属職員を指揮監督する。
- 8 課長、係長及び分館長は、上司の命を受けて課、係又は分館に属する事務を掌理し、所属職員を指揮監督する。
- 9 主査及び主任学芸主事は、上司の命を受けて総合図書館に属する特定の事務を掌理し、所属職員を指揮監督する。
- 10 職員は、上司の命を受けて分担する事務を処理する。

(職務権限の代行)

**第5条** 館長に事故がある場合又は館長が欠けた場合において、特に事務取扱者を命じないときは、副館長がその所掌する事務について館長の職務権限を代理して行う。ただし、重要又は異例な事務については、教育次長の指揮を受けなければならない。

- 2 副館長に事故がある場合又は副館長が欠けた場合において、特に事務取扱者を命じないときは、管理部長がその所掌する事務について副館長の職務権限を代理して行う。ただし、重要又は異例な事務については、館長の指揮を受けなければならない。
- 3 管理部長に事故がある場合又は管理部長が欠けた場合において、特に事務取扱者を命じないときは、課長がその所掌する事務について管理部長の職務権限を代理して行う。ただし、重要又は異例な事務については、副館長の指揮を受けなければならない。
- 4 課長に事故がある場合又は課長が欠けた場合において、特に事務取扱者を命じないときは、係長がその所掌する事務について課長の職務権限を代理して行う。ただし、重要又は異例な事務については、管理部長の指揮を受けなければならない。
- 5 前各号の規定により館長、副館長、管理部長又は課長の職務権限を代理して行うものがないときは、館長の職務権限は教育次長が、副館長の職務権限は館長が、管理部長の職務権限は副館長が、課長の職務権限は管理部長が行う。
- 6 分館長に事故がある場合又は分館長が欠けた場合において、特に事務取扱者を命じないときは、図書サービス課長が分館長の職務権限を行う。

(開館時間)

**第6条** 総合図書館の開館時間は、午前10時から午後7時まで（日曜日及び休日（国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号））に規定する休日をいう。以下に同じ。）については、午前10時から午後6時まで）とする。ただし、映像ホールについては、午前10時から午後10時まで（日曜及び休日については、午前10時から午後6時まで）とする。

- 2 前項本文の規定にかかわらず、分館の開館時間は、午前10時から午後6時までとする。
- 3 前2項の規定にかかわらず、教育長が必要と認める場合は、総合図書館の開館時間を変更することができる。

(休館日)

**第7条** 総合図書館の休館日は、次の各号に掲げるとおりとする。ただし、教育長が必要と認める場合は、これを変更し、又は臨時に休館日を設けることができる。

- (1) 毎週月曜日（その日が休日に当たるときは、その日後において最初の休日でない日）
- (2) 毎月末日（その日が日曜日、月曜日、土曜日又は休日に当たるときは、その日後において最初の日曜日、月曜日、土曜日及び休日でない日）
- (3) 12月28日から翌年1月4日まで
- (4) 図書資料、文学資料、文書資料及び映像資料（以下「図書資料等」という。）の整理期間として1年につき14日を超えない範囲内で教育長が定める期間

(施設の利用許可申請)

**第8条** 条例第5条の規定による総合図書館の施設利用の許可(以下「利用許可」という。)を受けようとする者は、福岡市総合図書館施設利用許可申請書(様式第1号)により教育長に申請しなければならない。

2 前項の申請は、映像ホールの利用申請については利用しようとする日の6月前から3月前までの間に、会議室の利用については、利用しようとする日の3月前から前日までの間に行わなければならない。ただし、教育長が特別の理由があると認める場合は、この限りでない。

(利用許可)

**第9条** 利用許可は、福岡市総合図書館施設利用許可書(様式第2号)を交付して行うものとする。

(利用取り止め)

**第10条** 利用許可を受けた者(以下「許可利用者」という。)が利用の取り止めをしようとする場合には、あらかじめ福岡市総合図書館施設利用取り止め届(様式第3号。以下「利用取り止め届」という。)を教育長に提出しなければならない。

(利用時間)

**第11条** 許可利用者が利用許可を受けた時間(以下「利用時間」という。)には、準備及び後片付けに要する時間を含むものとする。

(利用時間の経過)

**第12条** 許可利用者が利用の開始後において、利用時間を超えて引き続き当該利用許可に係る施設の利用を申し出た場合は、総合図書館の運営に支障がない場合においてのみ許可する。

(利用時間の超過の場合の使用料)

**第13条** 許可利用者が、前条の規定により利用時間を超えて利用するときの当該超えて利用する時間(以下「超過時間」という。)に係る使用料の額は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める額(100円未満の端数があるときは、これを切り捨てる。)とする。

(1) 映像ホール 超過1時間までごとに条例別表3 1 映像ホール使用料の表に掲げる午後6時から午後10時までの使用料の1時間当たりの額により算定した額(正午から午後1時までは、同表に掲げる午後1時から午後5時までの使用料の1時間当たりの額により算定した額)

(2) 会議室 1時間までごとに条例別表第3 2 会議室使用料の表に掲げる当該施設の午後4時から午後7時までの使用料の1時間当たりの額により算定した額。

(付属設備の使用料)

**第14条** 付属施設の使用料の額は、別表第1のとおりとする。

(図書資料等の複写手数料等)

**第15条** 条例第11条に規定する手数料の額は、別表第2のとおりとする。

2 館長は、複写を許可しない図書資料等をあらかじめ指定することができる。

(撮影等の許可)

**第16条** 条例第12条第一項の規定による総合図書館の図書資料等の撮影、模写又は模造(以下「撮影等」という。)の許可を受けようとする者は、福岡市総合図書館資料撮影等許可申請書(様式第4号)により館長に申請しなければならない。

2 前項の許可は、福岡市総合図書館資料撮影等許可書(様式第5号)を交付して行うものとする。

3 撮影等は、次の各号いずれかに該当するときは許可しない。

(1) 入館者の利用に支障があると認められるとき。

(2) 図書資料等の管理上支障があると認められるとき。

(3) その他撮影等を行うことが不相当と認められるとき。

4 撮影等は、所定の場所で行わなければならない。

(撮影等の手数料)

**第17条** 条例第12条第2項に規定する手数料の額は、別表第3のとおりとする。

(使用料及び手数料の徴収)

**第18条** 使用料は、利用の開始までに徴収する。

2 手数料は、複写又は撮影等の開始までに徴収する。

(観覧料等の還付)

**第19条** 条例第13条第2項ただし書の規定による観覧料等の還付は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める額について行うものとする。

- (1) 天災地変その他不可抗力により観覧、利用、複写又は撮影ができなくなったとき 当該観覧料の全額
- (2) 許可利用者が利用日の10日前（映像ホールについては1月前）までに利用取り止め届を提出したとき 当該使用料の全額
- (3) 許可利用者が利用日の5日前までに利用取り止め届を提出したとき（映像ホールを除く。） 当該使用料の額に0.5を乗じて得た額

(観覧料の減免)

**第20条** 条例第14条の規定による観覧料の減免は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める額について行うものとする。

- (1) 市内の義務教育諸学校の児童又は生徒及びこれらの引率者が当該義務教育諸学校の教育計画に基づき通常上映を観覧するとき 当該観覧料の全額
  - (2) 心身障がい者（療育手帳、身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）に規定する身体障害者手帳又は精神保健及び精神障害福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）に規定する精神障害者保健福祉手帳（以下「療育手帳等」という。）の交付を受けている者をいう。以下同じ。）が通常上映を観覧するとき 当該観覧料の全額
  - (3) 市内に居住する65歳以上の者が通常上映を観覧するとき 当該観覧料の額に0.5を乗じて得た額
  - (4) 前3号に掲げるもののほか、教育長が特に必要と認めるとき 教育長が必要と認める額
- 2 前項第1号又は第4号の規定により観覧料を減免を受けようとする者は、福岡市総合図書館観覧料減免申請書（様式第6号）により教育長に申請しなければならない。
- 3 第1項第2号又は第3号の規定により観覧料の減免を受けようとする者は、療育手帳等又は本市が発行するシルバー手帳を職員に提示しなければならない。

(使用料の減免)

**第21条** 条例第14条の規定による使用料の減免は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める額について行うものとする。

- (1) 本市が主催し、又は経費の一部を負担して共催する行事に利用するとき 当該使用料の全額
  - (2) 本市が経費の一部を負担して後援する行事に利用するとき 当該使用料の額に0.5を乗じて得た額
  - (3) 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関がその行事に利用するとき 当該使用料の全額
  - (4) 18歳未満の者を主体とする団体が利用するとき 当該使用料の額に0.5を乗じて得た額
  - (5) 映像ホールを利用して入場者から入場料を徴収する催物を行う場合で、当該入場料の額（数種の入場料を徴収する場合にあっては、その最も高い額）が1人1回の入場について5,000円以下であるとき 当該使用料（附属設備の使用料を除く。）の額に0.5を乗じて得た額
  - (6) 市内に居住する心身障がい者を主体とする団体が利用するとき 当該使用料の全額
  - (7) 前各号に掲げるもののほか、教育長が特に必要と認めるとき 教育長が必要と認める額
- 2 使用料の減免を受けようとする者は、福岡市総合図書館使用料減免申請書（様式第7号）により教育長に申請しなければならない。ただし、本市が主催する行事に利用する場合は、この限りではない。

(入館者及び許可利用者の心得)

**第22条** 総合図書館の入館者は、次の各号に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 総合図書館の施設、附属設備、備品又は図書資料等を損傷し、又はそのおそれのある行為をしないこと。
- (2) 他の入館者に迷惑をかけること。
- (3) 所定の場所以外で飲食をし、喫煙し、又は火気を使用しないこと。
- (4) 危険物又は動物を持ち込まないこと。
- (5) 許可なくして物品を販売し、若しくは展示し、又はこれに類する行為をしないこと。
- (6) 館内を不潔にしないこと。
- (7) 許可なくして図書資料等の撮影等をしないこと。

(8) 総合図書館の施設、付属設備、備品又は図書資料等の利用を終えたときは、これをもとの状態に復し、又は所定の場所へ返還すること。

(9) 所定の場所以外に出入りしないこと。

(10) 前各号に掲げるもののほか、管理上の必要から職員が行う指示又は指導に従うこと。

2 許可利用者は、前項に規定するもののほか、次の各号に掲げる事項を守らなければならない。

(1) 収容人数は、当該施設の所定の人員を超えないこと。

(2) 条例第7条各号のいずれかに該当する者に対しては、当該施設への入場を拒み、又は退場を命ずること。

(3) 火災、盗難、人身事故その他の事故の防止に努めること。

(4) 当該施設への入場者に前項各号に掲げる事項を守らせること。

(利用後の点検)

**第23条** 許可利用者は、総合図書館の施設、付属設備及び備品の使用を終えたときは、職員の点検を受けなければならない。

(図書資料等の貸出対象者)

**第24条** 市内若しくは別表第4に掲げる市町村内に居住し、又は市内に勤務し、若しくは在学する者は、図書資料等の個人貸出を受けることができる。

2 前項に規定する者のほか、館長が特に認める者もまた同様とする。

3 市内の地域団体、職域団体、社会教育関係団体その他の団体で館長が適当と認めるもの（以下「団体」という。）は、総合図書館（分館を除く。）の図書資料の団体貸出を受けることができる。

(登録手続)

**第25条** 図書資料等の貸出を受けようとする者は、個人にあつては図書貸出登録申込書を、団体にあつては団体貸出登録申請書を館長に提出し、登録しなければならない。

2 前項の規定による登録を行った者（以下「登録利用者」という。）に対しては、個人にあつては貸出カードを団体にあつては団体貸出登録書を交付するものとする。

3 貸出カードの有効期間は3年間とし、団体貸出登録書の有効期間は登録した年度の末日までとする。

4 登録に係る事項について異動を生じたとき、又は貸出カード若しくは団体貸出登録書を紛失したときは、登録利用者は、直ちにその旨を館長に届け出なければならない。

5 虚偽の登録を行い、又は貸出カード若しくは団体貸出登録書を他人に譲渡し、若しくは転貸する等の不正行為を行った登録利用者に対しては、その登録を取り消すことがある。

(貸出の手続)

**第26条** 登録利用者が、図書資料等の貸出を受けようとするときは、個人にあつては貸出カードを、団体にあつては団体貸出登録書をそれぞれ提出し、又は提示しなければならない。ただし、他の手段により登録利用者であることが確認できるときは、この限りではない。

(貸出の制限)

**第27条** 次の各号のいずれかに該当する図書資料等は、特に館長が認める場合を除き貸出をしない。

(1) 図書資料のうち参考図書

(2) 映像資料（ビデオテープ、コンパクトディスク、デジタル・バーサタイル・ディスク及びカセットブックを除く。）

(3) 文書資料

(4) 前3号に掲げるもののほか、特に重要な図書資料及び映像資料

(5) 前各号に掲げるもののほか、貸出が不相当と認められるもの

(貸出冊数及び期間)

**第28条** 図書資料等の個人貸出に係る貸出冊数及び貸出期間は、次のとおりとする。ただし、館長が特に必要と認めたときの貸出期間は、この限りでない。

(1) 図書資料の貸出は、登録利用者1人につき10冊以内とし、貸出期間は、貸出をした日の翌日から起算して2週間以内とする。

(2) 映像資料（コンパクトディスク及びカセットブックに限る。）の貸出は、登録利用者1人につき2枚以内又は2本以内とし、貸出期間は、貸出をした日の翌日から起算して2週間以内とする。

(3) 映像資料（ビデオテープ、デジタル・バーサタイル・ディスクに限る。）の貸出は、登録利用者1人につき1枚又は1本とし、貸出期間は、貸出をした日の翌日から起算して2週間以内とする。



2 図書資料の団体貸出に係る貸出冊数及び貸出期間は、貸出を受ける団体の規模等に応じて館長が別に定める。

(図書資料の管理)

**第29条** 団体貸出を受けた団体の代表者は、貸出を受けた図書資料を善良な管理者の注意をもって管理しなければならない。

(貸出の停止)

**第30条** 館長は、貸出期間の経過後なお図書資料等を返納しない登録利用者その他この規則及び総合図書館の管理上必要な指示に従わない登録利用者に対しては、図書資料等の貸出を一定期間停止することができる。

(様式)

**第31条** 第25条第1項に規定する図書貸出登録申請書及び団体貸出登録申請書、同条第2項に規定する貸出カード及び団体貸出登録書の様式は、館長が定める。

(図書資料等の寄贈及び寄託)

**第32条** 総合図書館は、図書資料等の寄贈及び寄託を受けることができる。

(寄託資料の取扱い)

**第33条** 寄託を受けた図書資料等は、寄託についての特別の条件がある場合のほか、他の図書資料等と同様の取扱いをするものとする。ただし、貸出については、寄託者の承諾がある場合に限り行うものとする。

(寄託期間)

**第34条** 図書資料等の寄託期間は、寄託者と館長が協議して定める。

2 前項の規定にかかわらず、館長が必要と認める場合は、寄託期間内においても当該図書資料等を返還することができる。

(免責)

**第35条** 寄託を受けた図書資料等が、天災地変その他不可抗力によって滅失し、又は損傷した場合は、教育委員会はその責めを追わないものとする。

(審議会の委員の委嘱)

**第36条** 条例第18条に規定する福岡市総合図書館運営審議会（以下「審議会」という。）の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、読書活動を行う団体の関係者、学識経験を有する者並びに本市の住民のうちから教育委員会が委嘱する。

(審議会の会長及び副会長)

**第37条** 審議会に会長及び副会長各1人を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によりこれを定める。

3 会長は審議会を代表し、会務を総理する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(審議会の会議)

**第38条** 審議会の会議は、会長が招集する。

2 会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

3 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数の場合は、会長の決するところによる。

(委任)

**第39条** この規則に定めるもののほか、総合図書館の管理に関し必要な事項は、教育長が定める。

## 附 則

(施行期日)

1 この規則は、平成8年4月1日から施行する。

(福岡市民図書館条例施行規則の廃止)

2 福岡市民図書館条例施行規則（昭和51年福岡市教育委員会規則第16号）は、廃止する。

**附 則**（平成10年12月28日教規則第6号）

この規則は、平成11年1月5日から施行する。

**附 則**（平成12年3月30日教規則第1号）

この規則は、平成12年4月1日から施行する。

**附 則**（平成13年3月29日教規則第9号）

この規則は、平成13年4月1日から施行する。

**附 則**（平成14年 3 月 28 日教規則第 9 号）

（施行期日）

- 1 この規則は、平成14年 4 月 1 日から施行する。

（経過措置）

- 2 この規則の施行の日前に交付した貸出カード及び団体貸出登録書の有効期限は、この規則による改正後の福岡市総合図書館条例施行規則第25条第 3 項の規定にかかわらず、貸出カードについては平成17年 3 月 31 日までとし、団体貸出登録書については平成15年 3 月 31 日までとする。

**附 則**（平成14年 7 月 29 日教規則第15号）

この規則は、平成14年 8 月 1 日から施行する。

**附 則**（平成15年 3 月 31 日教規則第 7 号）

この規則は、平成15年 4 月 1 日から施行する。

**附 則**（平成16年 3 月 29 日教規則第 8 号）

この規則は、平成16年 6 月 1 日から施行する。

**附 則**（平成17年 1 月 13 日教規則第 1 号）

この規則は、平成17年 1 月 24 日から施行する。

**附 則**（平成17年 3 月 24 日教規則第 2 号）

この規則は、平成17年 4 月 1 日から施行する。ただし、別表第 4 大島村の項を削る改正規定は、平成17年 3 月 28 日から施行する。

**附 則**（平成17年 7 月 14 日教規則第12号）

（施行期日）

- 1 この規則は、平成17年 7 月 15 日から施行する。

（経過措置）

- 2 この規則による改正前の福岡市教育委員会規則の規定により作成された様式は、当分の間、なお所要の調整をして使用することができる。

**附 則**（平成18年10月30日教規則第 9 号）

この規則は、平成18年11月 1 日から施行する。

**附 則**（平成19年 3 月 29 日教規則第 6 号）

この規則は、平成19年 4 月 1 日から施行する。

**附 則**（平成19年 6 月 28 日教規則第10号）

この規則は、平成19年 7 月 1 日から施行する。

**附 則**（平成19年12月20日教規則第11号）

この規則は、平成20年 4 月 1 日から施行する。

**附 則**（平成21年11月30日教規則第12号）

この規則は、平成22年 1 月 1 日から施行する。

**附 則**（平成23年 3 月 31 日教規則第4号）

この規則は、平成23年 4 月 1 日から施行する。

**附 則**（平成24年 3 月 29 日教規則第7号）

この規則は、平成24年 4 月 1 日から施行する。

**附 則**（平成24年 7 月 9 日教規則第11号）

この規則は、公布の日から施行する。

**附 則**（平成26年 3 月 20 日教規則第 1 号）

この規則は、平成26年 4 月 1 日から施行する。

別表第1  
 附属設備使用料

種 別	区 別	単 位	金 額
照明設備	ピンスポットライト	1台	310円
	ホリゾンライト	1式	1,000円
音響設備	拡声装置	1式	2,530円
	ステージスピーカー	1対	1,000円
	コンデンサマイク	1本	800円
	ダイナミックマイク	1本	340円
	ワイヤレスマイク	1チャンネル	1,520円
	CDプレーヤー	1台	800円
	カセットデッキ	1台	1,670円
	オープンデッキ	1台	2,300円
	同時通訳装置	1式	6,300円
舞台設備	演台	1台	730円
	バトン	1本	730円
映写設備	35ミリ映写機	1台	6,050円
	16ミリ映写機	1台	2,530円
	ハイビジョンプロジェクター	1台	8,000円
	ビデオプロジェクター	1台	2,530円
	ビデオデッキ	1台	2,000円
	LDプレーヤー	1台	2,000円
	スライドプロジェクター	1台	1,670円
	オーバーヘッドプロジェクター	1台	1,670円
	スクリーン	1張	1,670円

備考

- この表に掲げる使用料は、午前10時から正午まで、午後1時から午後5時まで及び午後6時から午後10時まで（会議室については午前10時から正午まで、午後1時から午後4時まで及び午後4時から午後7時まで）をそれぞれ1回とした使用料とする。
- 午前10時から午後5時まで及び午後1時から午後10時まで（会議室については午前10時から午後5時まで及び午後1時から午後7時まで）の使用料については、それぞれ前項の1回とした使用料の額に2を乗じて得た額とし、午前10時から午後10時まで（会議室については午前10時から午後7時まで）の使用料については、同項の1回とした使用料の額に3を乗じて得た額とする。
- 前2項の区分による利用時間を超えて利用するときの使用料は、1時間までごとにこの表に掲げる使用料の額に0.25を乗じて得た額を加算する。

別表第2  
複写手数料

区 分		単 位	金 額
モノクローム	A 3, A 4, B 4 及び B 5	1 枚につき	10円
カ ラ ー	A 3		80円
	A 4, B 4 及び B 5		50円

備考 複写に用いる用紙の規格は、日本工業規格による。

別表第3  
撮影等手数料

区 分			金 額	
撮 影	モノクローム	A	1 点 1 回につき	220円
		B	1 点 1 回につき	1,650円
	カ ラ ー	A	1 点 1 回につき	440円
		B	1 点 1 回につき	2,200円
模 写 ・ 模 造			1 点 1 回につき	1,650円

備考 Aは学術研究を目的とする場合、Bは学術研究以外を目的とする場合とする。

(以下様式省略)

別表第4

筑紫野市	春日市	大野城市	宗像市	太宰府市	古賀市	福津市
糸島市	那珂川町	宇美町	篠栗町	志免町	須恵町	新宮町
久山町	粕屋町					

### 3. 図書館法

昭和25年4月30日 法律第118号  
最終改正 平成23年12月14日 法律第122号

#### 第1章 総 則

(この法律の目的)

**第1条** この法律は、社会教育法（昭和24年法律第207号）の精神に基き、図書館の設置及び運営に関して必要な事項を定め、その健全な発達を図り、もって国民の教育と文化の発展に寄与することを目的とする。

(定義)

**第2条** この法律において「図書館」とは、図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設で、地方公共団体、日本赤十字社又は一般社団法人若しくは一般財団法人が設置するもの（学校に附属する図書館又は図書室を除く。）をいう。

2 前項の図書館のうち、地方公共団体の設置する図書館を公立図書館といい、日本赤十字社又は一般社団法人若しくは一般財団法人の設置する図書館を私立図書館という。

(図書館奉仕)

**第3条** 図書館は、図書館奉仕のため、土地の事情及び一般公衆の希望に沿い、更に学校教育を援助し、及び家庭教育の向上に資することとなるように留意し、おおむね次の各号に掲げる事項の実施に努めなければならない。

- (1) 郷土資料、地方行政資料、美術品、レコード及びフィルム収集にも十分留意して、図書、記録、視聴覚教育の資料その他必要な資料（電磁的記録（電子的方式、磁気的方式その他の人の知覚によっては認識することができない方式で作られた記録をいう。）を含む。以下「図書館資料」という。）を収集し、一般公衆の利用に供すること。
- (2) 図書館資料の分類排列を適切にし、及びその目録を整備すること。
- (3) 図書館の職員が図書館資料について十分な知識を持ち、その利用のための相談に応ずるようにすること。
- (4) 他の図書館、国立国会図書館、地方公共団体の議会に附置する図書室及び学校に附属する図書館又は図書室と緊密に連絡し、協力し、図書館資料の相互貸借を行うこと。
- (5) 分館、閲覧所、配本所等を設置し、及び自動車文庫、貸出文庫の巡回を行うこと。
- (6) 読書会、研究会、鑑賞会、映写会、資料展示会等を主催し、及びこれらの開催を奨励すること。
- (7) 時事に関する情報及び参考資料を紹介し、及び提供すること。
- (8) 社会教育における学習の機会を利用して行つた学習の成果を活用して行う教育活動その他の活動の機会を提供し、及びその提供を奨励すること。
- (9) 学校、博物館、公民館、研究所等と緊密に連絡し、協力すること。

(司書及び司書補)

**第4条** 図書館に置かれる専門的職員を司書及び司書補と称する。

- 2 司書は、図書館の専門的事務に従事する。
- 3 司書補は、司書の職務を助ける。

(司書及び司書補の資格)

**第5条** 次の各号のいずれかに該当する者は、司書となる資格を有する。

- (1) 大学又は高等専門学校を卒業した者で次条の規定による司書の講習を修了したもの
- (2) 大学を卒業した者で大学において図書館に関する科目を履修したもの
- (3) 次に掲げる職にあつた期間が通算して三年以上になる者で次条の規定による司書の講習を修了したもの。
  - イ 司書補の職
  - ロ 国立国会図書館又は大学若しくは高等専門学校の附属図書館における職で司書補の職に相当するもの。
  - ハ ロに掲げるもののほか、官公署、学校又は社会教育施設における職で社会教育主事、学芸員その他の司書補の職と同等以上の職として文部科学大臣が指定するもの。
- 2 次の各号のいずれかに該当する者は、司書補となる資格を有する。
  - (1) 司書の資格を有する者
  - (2) 学校教育法（昭和二十二年法律第二十六号）第九十条第一項の規定により大学に入学することができる者で次条の規定による司書補の講習を修了したもの

(司書及び司書補の講習)

**第6条** 司書及び司書補の講習は、大学が、文部科学大臣の委嘱を受けて行う。

2 司書及び司書補の講習に関し、履修すべき科目、単位その他必要な事項は、文部科学省令で定める。ただし、その履修すべき単位数は、十五単位を下ることができない。

(司書及び司書補の研修)

**第7条** 文部科学大臣及び都道府県の教育委員会は、司書及び司書補に対し、その資質の向上のために必要な研修を行うよう努めるものとする。

(設置及び運営上望ましい基準)

**第7条の二** 文部科学大臣は、図書館の健全な発達を図るために、図書館の設置及び運営上望ましい基準を定め、これを公表するものとする。

(運営の状況に関する評価等)

**第7条の三** 図書館は、当該図書館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

(運営の状況に関する情報の提供)

**第7条の四** 図書館は、当該図書館の図書館奉仕に関する地域住民その他の関係者の理解を深めるとともに、これらの者との連携及び協力の推進に資するため、当該図書館の運営の状況に関する情報を積極的に提供するよう努めなければならない。

(協力の依頼)

**第8条** 都道府県の教育委員会は、当該都道府県内の図書館奉仕を促進するために、市（特別区を含む。以下同じ。）町村の教育委員会に対し、総合目録の作製、貸出文庫の巡回、図書館資料の相互貸借等に関して協力を求めることができる。

(公の出版物の収集)

**第9条** 政府は、都道府県の設置する図書館に対し、官報その他一般公衆に対する広報の用に供せられる独立行政法人国立印刷局の刊行物を二部提供するものとする。

2 国及び地方公共団体の機関は、公立図書館の求めに応じ、これに対して、それぞれの発行する刊行物その他の資料を無償で提供することができる。

## 第2章 公立図書館

(設置)

**第10条** 公立図書館の設置に関する事項は、当該図書館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。

**第11条及び第12条** 削除

(職員)

**第13条** 公立図書館に館長並びに当該図書館を設置する地方公共団体の教育委員会が必要と認める専門的職員、事務職員及び技術職員を置く。

2 館長は、館務を掌理し、所属職員を監督して、図書館奉仕の機能の達成に努めなければならない。

(図書館協議会)

**第14条** 公立図書館に図書館協議会を置くことができる。

2 図書館協議会は、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関とする。

**第15条** 図書館協議会の委員は、当該図書館を設置する地方公共団体の教育委員会が任命する。

**第16条** 図書館協議会の設置、その委員の任命の基準、定数及び任期その他図書館協議会に関し必要な事項については、当該図書館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。この場合において、委員の任命の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。

(入館料等)

**第17条** 公立図書館は、入館料その他図書館資料の利用に対するいかなる対価をも徴収してはならない。

**第18条及び第19条** 削除

(図書館の補助)

**第20条** 国は、図書館を設置する地方公共団体に対し、予算の範囲内において、図書館の施設、設備に要する経費その他必要な経費の一部を補助することができる。

2 前項の補助金の交付に関し必要な事項は、政令で定める。

**第21条及び第22条** 削除

**第23条** 国は、第20条の規定による補助金の交付をした場合において左の各号の一に該当するときは、当該年度におけるその後の補助金の交付をやめるとともに、既に交付した当該年度の補助金を返還させなければならない。

(1) 図書館がこの法律の規定に違反したとき。

(2) 地方公共団体が補助金の交付の条件に違反したとき。

(3) 地方公共団体が虚偽の方法で補助金の交付を受けたとき。

**第24条** 削除

(都道府県の教育委員会との関係)

**第25条** 都道府県の教育委員会は、私立図書館に対し、指導資料の作製及び調査研究のために必要な報告を求めることができる。

- 2 都道府県の教育委員会は、私立図書館に対し、その求めに応じて、私立図書館の設置及び運営に関して、専門的、技術的の指導又は助言を与えることができる。

(国及び地方公共団体との関係)

**第26条** 国及び地方公共団体は、私立図書館の事業に干渉を加え、又は図書館を設置する法人に対し、補助金を交付してはならない。

**第27条** 国及び地方公共団体は、私立図書館に対し、その求めに応じて、必要な物資の確保につき、援助を与えることができる。

(入館料等)

**第28条** 私立図書館は、入館料その他図書館資料の利用に対する対価を徴収することができる。

(図書館同種施設)

**第29条** 図書館と同種の施設は、何人もこれを設置することができる。

- 2 第25条第2項の規定は、前項の施設について準用する。

**附 則**

- 1 この法律は、公布の日から起算して3月を経過した日から施行する。但し、第17条の規定は、昭和26年4月1日から施行する。

～以下省略～

**4. 著作権法（抜粋）**

昭和45年5月6日 法律第48号

(図書館等における複製)

**第31条** 図書、記録その他の資料を公衆の利用に供することを目的とする図書館その他の施設で政令で定めるもの（以下この条に置いて「図書館等」という。）においては、次に掲げる場合には、その営利を目的としない事業として、図書館等の図書、記録その他の資料（以下この条において「図書館資料」という。）を用いて著作物を複製することができる。

- (1) 図書館等の利用者の求めに応じ、その調査研究の用に供するために、公表された著作物の一部分（発行後相当期間を経過した定期刊行物に掲載された個々の著作物にあっては、その全部）の複製物を1人につき1部提供する場合
- (2) 図書館資料の保存のため必要がある場合
- (3) 他の図書館等の求めに応じ、絶版その他これに準ずる理由により一般に入手することが困難な図書館資料の複製物を提供する場合

## 5. 著作権法施行令（抜粋）

昭和45年12月10日 政令第335号

（図書館資料の複製が認められる図書館等）

**第1条の3** 法第31条（法律第86条第1項及び第102条第1項において準用する場合を含む。）の政令で定める図書館その他施設は、国立国会図書館及び次に掲げる施設で図書館法（昭和25年法律第118号）第4条第1項の司書又はこれに相当する職員として文部科学省令で定める職員が置かれているものとする。

- (1) 図書館法第2条第1項の図書館
- (2) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第1条の大学又は高等専門学校（次号において「大学等」という。）に設置された図書館及びこれに類する施設
- (3) 大学等における教育に類する教育を行う教育機関で当該教育を行うにつき学校教育法以外の法律に特別の規定があるものに設置された図書館
- (4) 図書、記録その他著作物の原作品及び複製物を収集し、整理し、保存して一般公衆の利用に供する業務を主として行う施設で法令の規定によって設置されたもの
- (5) 学術の研究を目的とする研究所、試験所その他の施設で法令の規定によって設置されたもののうち、その保存する図書、記録その他の資料を一般公衆の利用に供する業務を行うもの
- (6) 前各号に掲げるもののほか、国、地方公共団体又は一般社団法人若しくは一般財団法人その他の営利を目的としない法人（次条から第3条までにおいて「一般社団法人等」という。）が設置する施設で前2号に掲げる施設と同種のもののうち、文化庁長官が指定するもの。

## 6. 公文書館法

昭和62年12月15日 法律第115号

（目的）

**第1条** この法律は、公文書等を歴史資料として保存し、利用に供することの重要性にかんがみ、公文書館に関し必要な事項を定めることを目的とする。

（定義）

**第2条** この法律において「公文書等」とは、国又は地方公共団体が保管する公文書その他の記録（現用のものを除く。）をいう。

（責務）

**第3条** 国及び地方公共団体は、歴史資料として重要な公文書等の保存及び利用に関し、適切な措置を講ずる責務を有する。

（公文書館）

**第4条** 公文書館は、歴史資料として重要な公文書等（国が保管していた歴史資料として重要な公文書その他の記録を含む。次項において同じ。）を保存し、閲覧に供するとともに、これに関連する調査研究を行うことを目的とする施設とする。

2 公文書館には、館長、歴史資料として重要な公文書等についての調査研究を行う専門職員その他必要な職員を置くものとする。

**第5条** 公文書館は、国立公文書館法（平成11年法律第79号）の定めるもののほか、国又は地方公共団体が設置する。

2 地方公共団体の設置する公文書館の当該設置に関する事項は、当該地方公共団体の条例で定めなければならない。

（資金の融通等）

**第6条** 国は、地方公共団体に対し、公文書館の設置に必要な資金の融通又はあっせんに努めるものとする。



(技術上の指導)

**第7条** 内閣総理大臣は、地方公共団体に対し、その求めに応じて、公文書館の運営に関し、技術上の指導又は助言を行うことができる。

#### 附 則 抄

(施行期日)

- 1 この法律は、交付の日から起算して6月を超えない範囲内において政令で定める日から施行する。  
(専門職員についての特例)
- 2 当分の間、地方公共団体が設置する公文書館には、第4条第2項の専門職員を置かないことができる。

## 7. 博物館法(抜粋)

昭和26年12月1日 法律第285号

(この法律の目的)

**第1条** この法律は、社会教育法(昭和24年法律第207号)の精神に基き、博物館の設置及び運営に関して必要な事項を定め、その健全な発達を図り、もって国民の教育、学術及び文化の発展に寄与することを目的とする。

(定義)

**第2条** この法律において「博物館」とは、歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等に関する資料を収集し、保管(育成を含む。以下同じ。)し、展示して教育的配慮の下に一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するために必要な事業を行い、あわせてこれらの資料に関する調査研究をすることを目的とする機関(社会教育法による公民館及び図書館法(昭和25年法律第118号)による図書館を除く。)のうち、地方公共団体、一般社団法人若しくは一般財団法人、宗教法人又は政令で定めるその他の法人(独立行政法人(独立行政法人通則法(平成11年法律第103号)第2条第1項に規定する独立行政法人をいう。第29条において同じ。))を除く。)が設置するもので次章の規定による登録を受けたものをいう。

- 2 この法律において、「公立博物館」とは、地方公共団体の設置する博物館をいい、「私立博物館」とは、一般社団法人若しくは一般財団法人、宗教法人又は前項の政令で定める法人の設置する博物館をいう。
- 3 この法律において「博物館資料」とは、博物館が収集し、保管し、又は展示する資料(電磁的記録(電子的方式、磁気的方式その他人の知覚によつては認識することができない方式で作られた記録をいう。))を含む。)をいう。

(博物館の事業)

**第3条** 博物館は、前条第1項に規定する目的を達するため、おおむね次に掲げる事業を行う。

- (1) 実物、標本、模写、模型、文献、図表、写真、フィルム、レコード等の博物館資料を豊富に収集し、保管し、及び展示すること。
- (2) 分館を設置し、又は博物館資料を当該博物館外で展示すること。
- (3) 一般公衆に対して、博物館資料の利用に関し必要な説明、助言、指導等を行い、又は研究室、実験室、工作室、図書室等を設置してこれを利用させること。
- (4) 博物館資料に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。
- (5) 博物館資料の保管及び展示等に関する技術的研究を行うこと。
- (6) 博物館資料に関する案内書、解説書、目録、図録、年報、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。
- (7) 博物館資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等を主催し、及びその開催を援助すること。
- (8) 当該博物館の所在地又はその周辺にある文化財保護法(昭和25年法律第214号)の適用を受ける文化財について、解説書又は目録を作成する等一般公衆の当該文化財の利用の便を図ること。
- (9) 社会教育における学習の機会を利用して行つた学習の成果を活用して行う教育活動その他の活動の機会を提供し、及びその提供を奨励すること。

(10) 他の博物館、博物館と同一の目的を有する国の施設等と緊密に連絡し、協力し、刊行物及び情報の交換、博物館資料の相互貸借等を行うこと。

(11) 学校、図書館、研究所、公民館等の教育、学術又は文化に関する諸施設と協力し、その活動を援助すること。

2 博物館は、その事業を行うに当っては、土地の事情を考慮し、国民の実生活の向上に資し、更に学校教育を援助し得るようにも留意しなければならない。

(入館料等)

**第23条** 公立博物館は、入館料その他の博物館資料の利用に対する対価を徴収してはならない。但し、博物館の維持運営のためにやむを得ない事情のある場合は、必要な対価を徴収することができる。

## 8. 子どもの読書活動の推進に関する法律

平成13年12月12日 法律第154号

(目的)

**第1条** この法律は、子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、子どもの読書活動の推進に関する必要な事項を定めることにより、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資することを目的とする。

(基本理念)

**第2条** 子ども（おおむね18歳以下の者をいう。以下同じ。）の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

(国の責務)

**第3条** 国は、前条の基本理念（以下「基本理念」という。）にのっとり、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

(地方公共団体の責務)

**第4条** 地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

(事業者の努力)

**第5条** 事業者は、その事業活動を行うに当たっては、基本理念にのっとり、子どもの読書活動が推進されるよう、子どもの健やかな成長に資する書籍等の提供に努めるものとする。

(保護者の役割)

**第6条** 父母その他の保護者は、子どもの読書活動の機会の充実及び読書活動の習慣化に積極的な役割を果たすものとする

(関係機関等との連携強化)

**第7条** 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策が円滑に実施されるよう学校、図書館その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他必要な体制の整備に努めるものとする。

(子どもの読書活動推進基本計画)

**第8条** 政府は、子どもの読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るために、子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（以下「子ども読書活動推進基本計画」という。）を策定しなければならない。

2 政府は、子ども読書活動推進基本計画を策定したときは、遅滞なく、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない

3 前項の規定は、子ども読書活動推進基本計画の変更について準用する。

(都道府県子ども読書活動推進計画等)

- 第9条** 都道府県は、子ども読書活動推進基本計画を基本とするとともに、当該都道府県における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該都道府県における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「都道府県子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。
- 2 市町村は、子ども読書活動推進基本計画（都道府県子ども読書活動推進基本計画が策定されているときは、子ども読書活動推進基本計画及び都道府県子ども読書活動推進基本計画）を基本とするとともに、当該市町村における子どもの読書活動の推進状況等を踏まえ、当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「市町村子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。
  - 3 都道府県又は市町村は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画を策定したときは、これを公表しなければならない。
  - 4 前項の規定は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画の変更について準用する。

(子ども読書の日)

- 第10条** 国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、子ども読書の日を設ける。
- 2 子ども読書の日は、4月23日とする。
  - 3 国及び地方公共団体は、子ども読書の日趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。

(財政上の措置等)

- 第11条** 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策を実施するため必要な財政上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。

## 附 則

この法律は、公布の日から施行する。

## 9. 文字・活字文化振興法

平成17年7月29日 法律第91号

(目的)

- 第1条** この法律は、文字・活字文化が、人類が長い歴史の中で蓄積してきた知識及び知恵の継承及び向上、豊かな人間性の涵養並びに健全な民主主義の発達に欠くことのできないものであることにかんがみ、文字・活字文化の振興に関する基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務を明らかにするとともに、文字・活字文化の振興に関する必要な事項を定めることにより、我が国における文字・活字文化の振興に関する施策の総合的な推進を図り、もって知的で心豊かな国民生活及び活力ある社会の実現に寄与することを目的とする。

(定義)

- 第2条** この法律において「文字・活字文化」とは、活字その他の文字を用いて表現されたもの（以下この条において「文章」という。）を読み、及び書くことを中心として行われる精神的な活動、出版活動その他の文章を人に提供するための活動並びに出版物その他のこれらの活動の文化的所産をいう。

(基本理念)

- 第3条** 文字・活字文化の振興に関する施策の推進は、すべての国民が、その自主性を尊重されつつ、生涯にわたり、地域、学校、家庭その他の様々な場において、居住する地域、身体的な条件その他の要因にかかわらず、等しく豊かな文字・活字文化の恵沢を享受できる環境を整備することを旨として、行われなければならない。
- 2 文字・活字文化の振興に当たっては、国語が日本文化の基盤であることに十分配慮されなければならない。
  - 3 学校教育においては、すべての国民が文字・活字文化の恵沢を享受することができるようにするため、その教育の課程の全体を通じて、読む力及び書く力並びにこれらの力を基礎とする言語に関する能力（以下「言語力」という。）の涵養に十分配慮されなければならない。

(国の責務)

**第4条** 国は、前条の基本理念（次条において「基本理念」という。）にのっとり、文字・活字文化の振興に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

(地方公共団体の責務)

**第5条** 地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、文字・活字文化の振興に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

(関係機関等との連携強化)

**第6条** 国及び地方公共団体は、文字・活字文化の振興に関する施策が円滑に実施されるよう、図書館、教育機関その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他必要な体制の整備に努めるものとする。

(地域における文字・活字文化の振興)

**第7条** 市町村は、図書館奉仕に対する住民の需要に適切に対応できるようにするため、必要な数の公立図書館を設置し、及び適切に配置するよう努めるものとする。

2 国及び地方公共団体は、公立図書館が住民に対して適切な図書館奉仕を提供することができるよう、司書の充実等の人的体制の整備、図書館資料の充実、情報化の推進等の物的条件の整備その他の公立図書館の運営の改善及び向上のために必要な施策を講ずるものとする。

3 国及び地方公共団体は、大学その他の教育機関が行う図書館の一般公衆への開放、文字・活字文化に係る公開講座の開設その他の地域における文字・活字文化の振興に貢献する活動を促進するため、必要な施策を講ずるよう努めるものとする。

4 前3項に定めるもののほか、国及び地方公共団体は、地域における文字・活字文化の振興を図るため、文字・活字文化の振興に資する活動を行う民間団体の支援その他の必要な施策を講ずるものとする。

(学校教育における言語力の涵養)

**第8条** 国及び地方公共団体は、学校教育において言語力の涵養が十分に図られるよう、効果的な手法の普及その他の教育方法の改善のために必要な施策を講ずるとともに、教育職員の養成及び研修の内容の充実その他のその資質の向上のために必要な施策を講ずるものとする。

2 国及び地方公共団体は、学校教育における言語力の涵養に資する環境の整備充実を図るため、司書教諭及び学校図書館に関する業務を担当するその他の職員の充実等の人的体制の整備、学校図書館の図書館資料の充実及び情報化の推進等の物的条件の整備等に関し必要な施策を講ずるものとする。

(文字・活字文化の国際交流)

**第9条** 国は、できる限り多様な国の文字・活字文化が国民に提供されるようにするとともに我が国の文字・活字文化の海外への発信を促進するため、我が国においてその文化が広く知られていない外国の出版物の日本語への翻訳の支援、日本語の出版物の外国語への翻訳の支援その他の文字・活字文化の国際交流を促進するために必要な施策を講ずるものとする。

(学術的出版物の普及)

**第10条** 国は、学術的出版物の普及が一般に困難であることにかんがみ、学術研究の成果についての出版の支援その他の必要な施策を講ずるものとする。

(文字・活字文化の日)

**第11条** 国民の間に広く文字・活字文化についての関心と理解を深めるようにするため、文字・活字文化の日を設ける。

2 文字・活字文化の日は、10月27日とする。

3 国及び地方公共団体は、文字・活字文化の日には、その趣旨にふさわしい行事が実施されるよう努めるものとする。

(財政上の措置等)

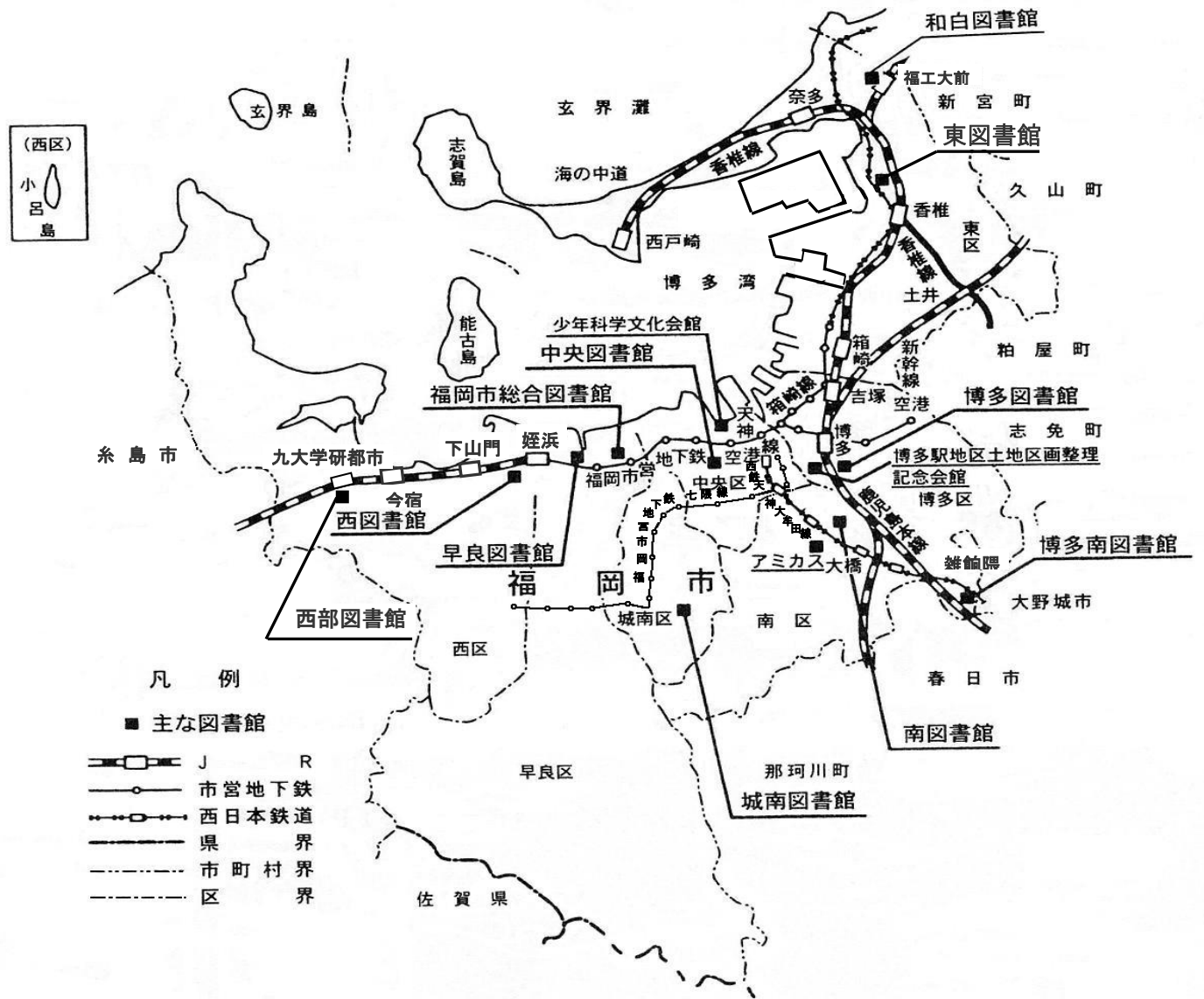
**第12条** 国及び地方公共団体は、文字・活字文化の振興に関する施策を実施するため必要な財政上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。

## 附 則

この法律は、公布の日から施行する。

# VI. 福岡市勢概要

## 1. 図書施設配置図



## 2. 面積、人口、世帯数

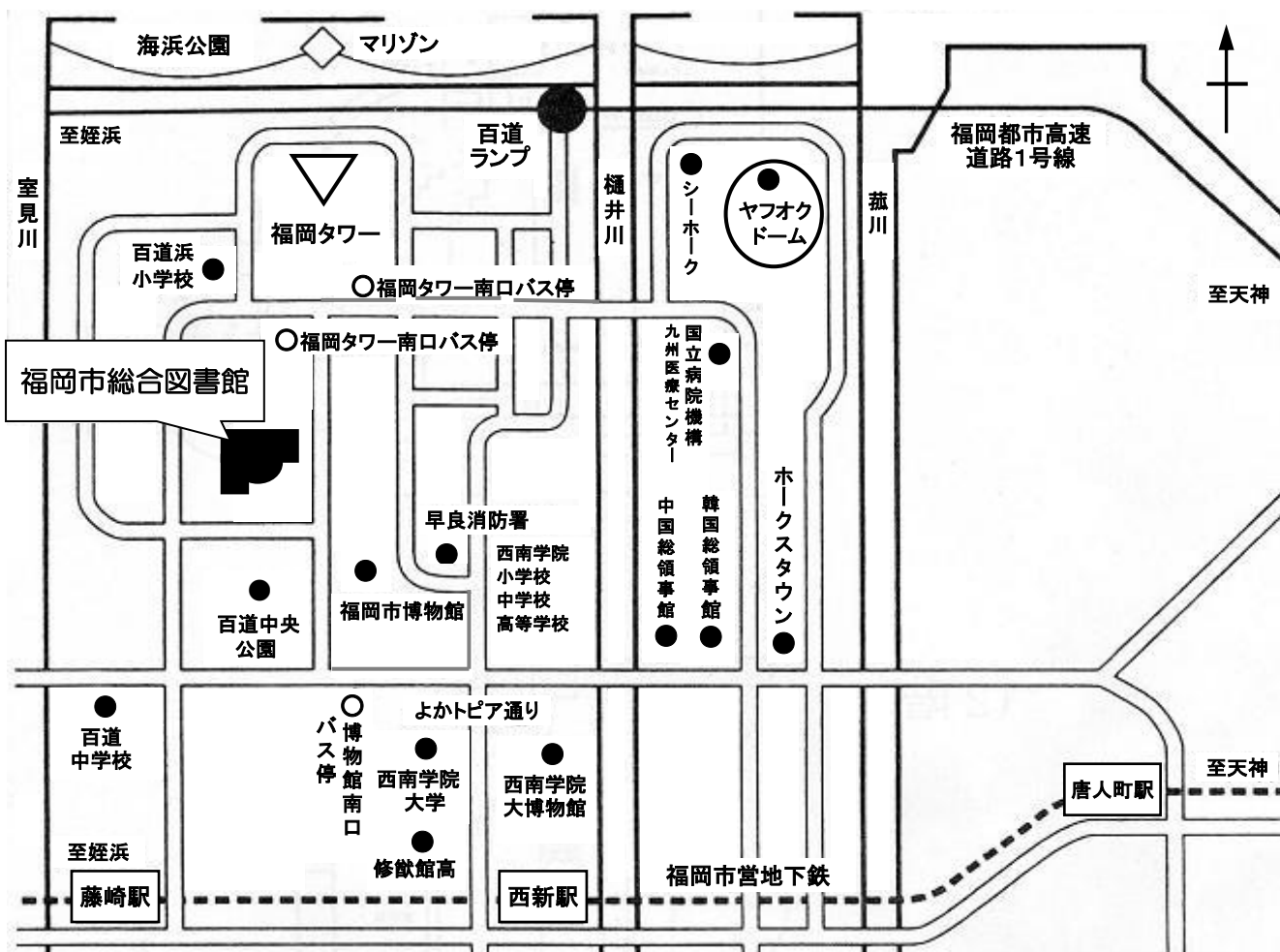
平成26年4月1日現在

区分	面積 (km <sup>2</sup> )	人口 (人)	世帯数 (参考)
全市	341.70	1,510,566	747,776
東区	68.36	301,062	140,502
博多区	31.47	223,013	133,496
中央区	15.16	188,369	114,307
南区	30.98	252,984	118,002
城南区	16.02	129,286	63,844
早良区	95.88	214,584	93,596
西区	83.83	201,268	84,029

- 注(1) 面積は、国土地理院の平成25年10月1日現在「全国都道府県市区町村別面積調」による。  
 (2) 人口は、平成22年国勢調査結果確定値を基礎として、住民基本台帳の異動状況等から算出した人口  
 (3) 世帯数は、人口と同じ方法で算出した推計数

—福岡市統計調査課「福岡市推計人口」より—

◇ 位置図



◇ 交通アクセス

市営地下鉄／西新駅又は藤崎駅下車徒歩15分

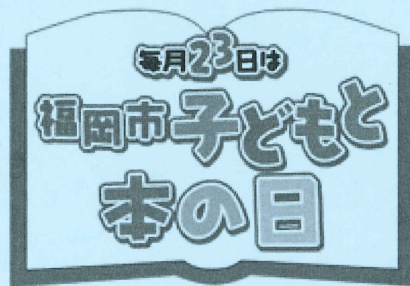
西鉄バス

〈博多駅から約25分〉 福岡タワー南口 (306, 312番) 下車徒歩 3分  
・博多駅交通センター 1F

〈天神から約20分〉 福岡タワー南口 (W1, W2, 302, 305番) 下車徒歩 3分  
・天神バスセンター前

〈西新から約 9分〉 福岡タワー南口 (10, 15, 25, 54-1, 94番) 下車徒歩 3分  
・西新パレス前

〈藤崎から約 6分〉 福岡タワー南口 (1, 1-5, 2, 2-9, 40, 200, 306, W1番) 下車徒歩 3分  
・藤崎バスターミナル



## 平成26年度 図 書 館 要 覧

平成26年7月発行

編集・発行 福岡市総合図書館

〒814-0001 福岡市早良区百道浜三丁目7番1号

TEL 092-852-0600(代表)

FAX 092-852-0609

<http://toshokan.city.fukuoka.lg.jp/>

印 刷 株式会社ディスジャパン

**R100**  
古紙配合率100%再生  
紙を使用しています